A セメスター (A1・A2 ターム) 科目紹介

このブックには A セメスター (A1・A2 ターム) に開講される科目の科目紹介 (シラバス) が掲載されていますので、履修計画を立てる際の参考にしてください。シラバスは本冊子以外にも、UTAS にログインの上、画面上「シラバス」メニューから「(シラバス参照)」を選択することでも参照ができます。UTAS 上のシラバスは本冊子の科目紹介よりも多くの情報が掲載されていますので、履修を考えている授業については、UTAS 上のシラバスも併せて参照するようにしてください。具体的には、「授業計画」「学習上のアドバイス」などの項目は、UTAS 上のシラバスのみに掲載されています。

科目紹介 (シラバス) 例 (科目ごとに掲載されている項目・情報は異なります)

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	単位	教室	対象
①	②	東大概論	駒場 太郎	③	④	⑤	⑥	⑦
講義題目 目標概要 評価方法 教科書 ガイダンス								

①時間割コード

それぞれの授業に割り振られている固有の番号です。UTAS でシラバスを参照する際などに使用します。

②開講区分

授業が開講される期間を示します。それぞれの表示は以下の期間での開講を表します。

開講区分	正式名称	授業の開講期間
A	A セメスター	概ね 9～1 月
A1	A1 ターム	概ね 9～11 月
A2	A2 ターム	概ね 11～1 月

授業日の詳細については、表紙裏の授業等日程を参照してください。

③所属

教養学部 (総合文化研究科) が開講する授業は、開講元の部会名又は学科 (専攻) が掲載されています。他学部・研究科等が開講する授業は、当該学部・研究科等の名前が掲載されています。

開講所属凡例

教養学部前期課程部会
英語
ドイツ語
フランス語・イタリア語
中国語
韓国朝鮮語
ロシア語
スペイン語
古典語・地中海諸言語
法・政治
経済・統計
社会・社会思想史
国際関係
歴史学
国文・漢文学
文化人類学
哲学・科学史
心理・教育学
人文地理学
物理
化学
生物
情報・図形
宇宙地球
相関自然
スポーツ・身体運動
数学
PEAK 前期
日本語
先進科学

教養学部
統合自然科学科

総合文化研究科
言語情報科学専攻
超域文化科学専攻 表象文化論コース
超域文科化学専攻 比較文学比較文化コース
地域文化研究専攻
地域文化研究専攻 アジア・日本文化研究コース

その他（後期課程諸学部、全学センターなど）
情報メディア科学委員会
法学部
医学部
新領域創成科学研究科
先端科学技術研究センター
生産技術研究所
人間の安全保障プログラム
etc.

④曜限

授業が行われる曜限が掲載されています。「集中講義」と記載されている授業は、特定の日程や授業期間外に行われることがありますので、授業内容を確認してください。

⑤単位

当該授業に合格した場合に得られる単位数が掲載されています。当項目の掲載がない科目については、『履修の手引き』p.6 に掲載されている内容に従います。

⑥教室

授業が行われる教室が掲載されています。表記と対応する号館・建物は以下のとおりです。

教室名称	建物名称	教室名称	建物名称
101～192	1号館	KALS	17号館2階
511～534	5号館	E21～E49	情報教育棟
721～762	7号館	K101～K502（下2桁目が0）	21KOMCEE West
900	講堂	K011～K214（下2桁目が1）	21KOMCEE East
10-101～10-308	10号館	学際交流ホール	アドミニストレーション棟3階
1101～1109	11号館	18号館ホール	18号館1階
1211～1233	12号館	音楽実習室	コミュニケーションプラザ北館
1311～1341	13号館		

駒場キャンパスの建物配置図については教養学部前期課程 HP の建物配置図を参照してください。教室欄に「シラバス参照」と記載されている授業は、上表以外の教室や駒場キャンパス以外の場所で開講される授業のため、正しい開講場所をシラバスやガイダンス等で確認してください。

また、初回のみ通常と異なる教室で行われる授業や、授業開始後に教室変更が行われる授業がありますので、シラバスや掲示板・教養学部前期課程 HP のお知らせを随時確認し、実際に授業が行われる教室を正確に把握するようにしてください。

⑦対象

授業の対象となる科類やクラスが掲載されています。欄内の数字は組番号を表し、複数クラスが対象の場合は「6,16-18,20」のように範囲を示しています（この場合は17組も対象クラスに含みます）。「奇数」「偶数」と記載のある場合には、学生証番号末尾の数字の奇数・偶数で対象学生を示しています。本項目で指定されていない科類・クラス等に所属している学生は当該授業の履修登録を行うことができないので、注意してください。

⑧科目紹介の内容

具体的な科目紹介の内容が掲載されています。授業によっては、履修にあたっての注意点等が挿入されていることがあります。不明な点は教務課に必ず確認の上、履修登録を行うようにしてください。

英語の履修について

既修外国語の英語は各科目1単位または2単位で、計5単位の科目群であり、英語一列（教養英語）・英語二列S（アカデミック・ディスカッション）・英語二列W（アカデミック・ライティング）に分けられる（その他に総合科目L系列3単位）。

英語一列（教養英語）は共通教科書とこれに関連する音声教材を使用する習熟度別の授業である。英語二列Sも同じく習熟度別の授業であり、文科生、理科生ともFLOW(Fluency-Oriented Workshop)のプログラムにより実施する。英語二列Wは、文科生はALESA(Active Learning of English for Students of the Arts)、理科生はALESS(Active Learning of English for Science Students)のプログラムにより実施する。

●本冊子において、「英語一列」「英語二列S」「英語二列W」のシラバスが掲載されている。

●「英語一列」「英語二列S」「英語二列W」は所属クラスに応じてあらかじめ指定された授業を履修する。「英語一列」「英語二列S」は習熟度別にクラスが分けられている。

●「英語一列」「英語二列S」「英語二列W」の3科目をそれぞれのターム・セメスターに履修するかについては、所属クラスにより異なり、下表の4つのグループにあらかじめ分けられる。「(クラス指定総合科目L)」と記載されている部分については、総合科目L系列「英語中級」が所属クラスに対するクラス指定の授業として開講される。

所属クラス	ターム・セメスター			
	1S1	1S2	1A1	1A2
	1S		1A	
文一二 (8,11,22,25-26) 文三 (5,7,11,14,19) 理一 (1-4,12,17,18,20,23,31,35-36,39) 理二三 (11,13,20,23)	英語一列①	英語二列S	(クラス指定 総合科目L)	英語一列②
	(クラス指定総合科目L)		英語二列W	
文一二 (5-6,13,15,16,18-19,24) 文三 (6,10,12,17) 理一 (7,9,13,19,25,28,30,34,37) 理二三 (6-7,18,19,22)	英語一列①	(クラス指定 総合科目L)	英語二列S	英語一列②
	英語二列W		(クラス指定総合科目L)	
文一二 (1-3,7,10,17,20-21,23,27-28) 文三 (1-3,9,15-16) 理一 (8,11,16,21,24,27,29,33) 理二三 (4,8,9,14,17,21)	英語二列S	英語一列①	英語一列②	(クラス指定 総合科目L)
	(クラス指定総合科目L)		英語二列W	
文一二 (4,9,12,14) 文三 (4,8,13,18,20) 理一 (5-6,10,14-15,22,26,32,38) 理二三 (1-3,5,10,12,15-16,24)	(クラス指定 総合科目L)	英語一列①	英語一列②	英語二列S
	英語二列W		(クラス指定総合科目L)	

外国語（英語一列・特別クラス）

英語一列（教養英語）・特別クラス

《英語一列①（教養英語）》

目標・概要 「教養英語」は、本学教養学部英語部会教員が教養課程における英語学習のために作成した、理科学、文科学を問わず学生の知的関心に応える高度で分野横断的な内容をもつ教科書『教養英語読本』と、これに関連したリスニング教材を使用して行う授業である。リスニング教材（音声）およびスクリプトは下記「関連ホームページ」で配信する。クラスは、学生の習熟度に合わせて三段階に分かれており、それぞれのグループの学生にもっとも適した進度や授業方法を採用する。その際、全クラスで共通して学習する部分を一定量設けて試験範囲とし、これに実力問題を加えた統一定期試験を実施する。

授業の方法

- ・「教養英語」が行われる時間帯には、それぞれ複数のクラスが設けられている。各クラスの教室割当は教務課掲示板に掲示する（他の語学クラスとは違うので注意すること）。
- ・「教養英語」では、習熟度に応じて三つのグループを設定している。

グループ1：約300名。授業は英語で行われる。指定された共通部分以外のテキストの範囲もカバーし、テキストの内容理解に加え、作文・ディスカッションなど応用的な活動も含まれる。
 グループ2：約900名。授業は原則として日本語で行われる。指定された共通部分以外のテキストの範囲もカバーし、テキストの正確な読解に加え、作文・ディスカッションなど各教員の個性を生かした応用的な活動も含まれる。
 グループ3：約1800名。授業は原則として日本語で行われる。指定された共通部分をカバーし、語彙・文法等を重視しながら読解力の養成を目指す。それを元にした発展的な活動を含むこともある。

・具体的な授業スケジュール（教材の選択、利用方法、必要な準備など）は、授業開始後に各クラスで教員から伝達される。

成績評価方法 定期試験（統一試験）および平常点
教科書 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook
 書名 教養英語読本Ⅱ
 著者（訳者） 東京大学教養学部英語部会（編）
 出版社 東京大学出版会

関連ホームページ <http://park.itc.u-tokyo.ac.jp/efas/>

《英語特別クラス》

非英語圏からの留学生、及び入試の外国語を英語以外で受験した者で、かつ英語の履修を希望する者は、英語部会の許可を得て「英語特別クラス」の履修で「英語一列②」「英語二列」「総合科目L系列 英語中級」の単位に充当することができる。履修希望者は第一週のガイダンス（日時、場所は掲示を参照）に出席すること。

《英語特修クラス（第3学期終了時点で平均合格していない進学内定者《平均点が40点以上50点未満》対象）》

※2014年度以前入学者対象

すでに学んだ英語科目の授業内容を復習し、不足部分を補いつつ、英語の運用能力を高めることを目指す。詳しくはUTAS上のシラバスを参照のこと。

授業科目名	担当教員	教室	開講	曜限	対象クラス
英語一列②	教養英語担当教員	各教室	A1	火3	1年 文一二(1-3,7,9,27)文三(1-3,8-9)理一(5-6,16,27)理二三(1-3,5,12,17)
				火4	1年 文一二(4,21,23)文三(16,18)理一(21-22,32,38)理二三(8,14-15)
				水2	1年 文一二(10,14,20)文三(4,13)理一(11,14-15,24)理二三(4,9-10)
				水3	1年 文一二(12,17,28)文三(15,20)理一(8,10,26,29,33)理二三(16,21,24)
			A2	火3	1年 文一二(13,24-25)文三(11,17)理一(1-4,9,18-19)理二三(7,13)
				火4	1年 文一二(6,8,18)文三(5,7,12)理一(20,30-31,34-35)理二三(11,18,22)
				水2	1年 文一二(5,15,19,26)文三(6,19)理一(7,12,23,28,36)理二三(6,23)
				水3	1年 文一二(11,16,22)文三(10,14)理一(13,17,25,37,39)理二三(19-20)
英語特修	担当教員	シラバス参照	A	集中	2014年度以前入学の2年生

外国語（英語二列 S）

Fluency-Oriented Workshop (FLOW)					
授業の目標・概要		The course aims to build students' confidence and ability to engage fluently and critically in a classroom discussion, to be aware of their weaknesses, and to have the tools to improve autonomously.			
成績評価方法		Grades are based on active participation in class activities and on related assignments.			
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTASを参照すること					
時間割コード	開講	曜限	担当教員	教室	対象クラス
50338	A 1	火 3	SEDDON Ryan John	119	1年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50339	A 1	火 3	沈 尚玉	10-204	1年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50340	A 1	火 3	ナオミ バーマン	K301	1年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50341	A 1	火 3	PAZDZIORA JOHN PATRICK	120	1年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50343	A 1	火 3	RUIZ TADA Elisa	114	1年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50344	A 1	火 3	ホールマン フランシス キャンドラー	516	1年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50345	A 1	火 3	BORDILOVSKAYA Anna	118	1年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50346	A 1	火 3	DIETZ Richard	KALS	1年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50347	A 1	火 3	ROBB Nigel	10-202	1年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50348	A 1	火 3	NADADUR KANNAN Rajalakshmi	518	1年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50349	A 1	火 3	テラシマ アレクサンドラ	149	1年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50350	A 1	火 3	Kartika Diana	K302	1年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50351	A 1	火 3	ユウ ジョアン	K401	1年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
51493	A 1	火 3	PULIDO ARCAS Jesus Alberto	K501	1年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50399	A 1	火 4	テラシマ アレクサンドラ	149	1年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50401	A 1	火 4	BORDILOVSKAYA Anna	118	1年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50402	A 1	火 4	ユウ ジョアン	K401	1年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50403	A 1	火 4	沈 尚玉	10-204	1年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50404	A 1	火 4	NADADUR KANNAN Rajalakshmi	518	1年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50405	A 1	火 4	PAZDZIORA JOHN PATRICK	120	1年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50406	A 1	火 4	VANDEN BUSSCHE, Eric Armand	116	1年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50407	A 1	火 4	ナオミ バーマン	K301	1年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50409	A 1	火 4	Kartika Diana	K302	1年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50410	A 1	火 4	BUENO Alex Falcon	153	1年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50411	A 1	火 4	DIETZ Richard	KALS	1年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50412	A 1	火 4	マニナン ジョン	516	1年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
51494	A 1	火 4	RUIZ TADA Elisa	114	1年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50497	A 1	水 2	RUIZ TADA Elisa	114	1年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50499	A 1	水 2	モレノ ペナランダ ラケル	K401	1年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50500	A 1	水 2	BUENO Alex Falcon	115	1年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50501	A 1	水 2	ディーエル グレゴリー ロジャース	10-304	1年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)

外国語（英語二列 s）

50502	A 1	水 2	マニナン ジョン	K301	1年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50503	A 1	水 2	DIETZ Richard	516	1年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50504	A 1	水 2	PAZDZIORA JOHN PATRICK	119	1年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50505	A 1	水 2	ハンセン キャサリン	10-102	1年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50506	A 1	水 2	ジェームズ エリンガー	K201	1年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50507	A 1	水 2	ROBB Nigel	10-204	1年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50508	A 1	水 2	Kartika Diana	K303	1年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50509	A 1	水 2	VANDEN BUSSCHE, Eric Armand	116	1年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50510	A 1	水 2	PULIDO ARCAS Jesus Alberto	KALS	1年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50512	A 1	水 2	ホールマン フランシス キャンドラー	517	1年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50591	A 1	水 3	WEITEMIER Adam	515	1年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50593	A 1	水 3	テラシマ アレクサンドラ	120	1年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50594	A 1	水 3	ユウ ジョアン	119	1年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50595	A 1	水 3	BUENO Alex Falcon	115	1年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50596	A 1	水 3	BORDILOVSKAYA Anna	149	1年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50598	A 1	水 3	RUIZ TADA Elisa	114	1年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50599	A 1	水 3	ハンセン キャサリン	10-102	1年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50600	A 1	水 3	NADADUR KANNAN Rajalakshmi	150	1年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50601	A 1	水 3	モレノ ペナランダ ラケル	K401	1年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50602	A 1	水 3	BROOKS Britton	118	1年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50603	A 1	水 3	沈 尚玉	10-204	1年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50604	A 1	水 3	VANDEN BUSSCHE, Eric Armand	116	1年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50605	A 1	水 3	Kartika Diana	K303	1年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
60022	A 2	火 3	沈 尚玉	10-204	1年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60023	A 2	火 3	ナオミ バーマン	K301	1年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60024	A 2	火 3	RUIZ TADA Elisa	114	1年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60025	A 2	火 3	テラシマ アレクサンドラ	149	1年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60026	A 2	火 3	ユウ ジョアン	K401	1年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60027	A 2	火 3	ホールマン フランシス キャンドラー	516	1年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60028	A 2	火 3	NADADUR KANNAN Rajalakshmi	518	1年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60029	A 2	火 3	DIETZ Richard	KALS	1年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60030	A 2	火 3	SEDDON Ryan John	119	1年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60031	A 2	火 3	BORDILOVSKAYA Anna	118	1年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60032	A 2	火 3	ROBB Nigel	10-202	1年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60035	A 2	火 3	Kartika Diana	K302	1年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60036	A 2	火 3	PAZDZIORA JOHN PATRICK	120	1年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60239	A 2	火 3	PULIDO ARCAS Jesus Alberto	K501	1年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60056	A 2	火 4	沈 尚玉	10-204	1年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60057	A 2	火 4	PAZDZIORA JOHN PATRICK	120	1年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)

外国語（英語二列 s）

60058	A 2	火 4	BORDILOVSKAYA Anna	118	1年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60059	A 2	火 4	マニナン ジョン	516	1年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60060	A 2	火 4	Kartika Diana	K302	1年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60061	A 2	火 4	DIETZ Richard	KALS	1年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60062	A 2	火 4	BUENO Alex Falcon	153	1年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60063	A 2	火 4	VANDEN BUSSCHE, Eric Armand	116	1年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60064	A 2	火 4	ナオミ バーマン	K301	1年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60066	A 2	火 4	NADADUR KANNAN Rajalakshmi	518	1年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60067	A 2	火 4	テラシマ アレクサンドラ	149	1年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60069	A 2	火 4	ユウ ジョアン	K401	1年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60240	A 2	火 4	RUIZ TADA Elisa	114	1年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60116	A 2	水 2	VANDEN BUSSCHE, Eric Armand	116	1年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60117	A 2	水 2	RUIZ TADA Elisa	114	1年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60119	A 2	水 2	ROBB Nigel	10-204	1年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60120	A 2	水 2	PULIDO ARCAS Jesus Alberto	KALS	1年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60122	A 2	水 2	モレノ ペナランダ ラケル	K401	1年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60123	A 2	水 2	マニナン ジョン	K301	1年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60125	A 2	水 2	Kartika Diana	K303	1年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60126	A 2	水 2	ハンセン キャサリン	10-102	1年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60127	A 2	水 2	ホールマン フランシス キャンドラー	517	1年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60128	A 2	水 2	ジェームズ エリンガー	K201	1年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60129	A 2	水 2	DIETZ Richard	516	1年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60130	A 2	水 2	ディーエル グレゴリー ロジャース	10-304	1年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60131	A 2	水 2	BUENO Alex Falcon	115	1年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60132	A 2	水 2	PAZDZIORA JOHN PATRICK	119	1年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60147	A 2	水 3	VANDEN BUSSCHE, Eric Armand	116	1年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60148	A 2	水 3	BORDILOVSKAYA Anna	149	1年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60149	A 2	水 3	BUENO Alex Falcon	115	1年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60151	A 2	水 3	ハンセン キャサリン	10-102	1年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60152	A 2	水 3	Kartika Diana	K303	1年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60153	A 2	水 3	モレノ ペナランダ ラケル	K401	1年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60155	A 2	水 3	WEITEMIER Adam	515	1年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60156	A 2	水 3	NADADUR KANNAN Rajalakshmi	150	1年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60157	A 2	水 3	テラシマ アレクサンドラ	120	1年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60158	A 2	水 3	RUIZ TADA Elisa	114	1年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60159	A 2	水 3	沈 尚玉	10-204	1年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60160	A 2	水 3	ユウ ジョアン	119	1年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60162	A 2	水 3	BROOKS Britton	118	1年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)

外国語（英語二列 W）ALESA

Active Learning of English for Students of the Arts (ALESA)		開講区分	A
授業の目標・概要	<p>This course introduces students to the skill of building an effective written argument in English supported by sources and evidence and to the conventions of formal writing. By the end of the course, students will:</p> <ul style="list-style-type: none"> - be able to present a clear position which is supported by evidence and addresses alternative points of view; - understand the organisation and rhetorical features of an argumentative essay; - be familiar with basic stylistic conventions of academic writing. 		
授業の方法	<p>Class activities will include reading and analyzing argumentative writing in English; developing a position on a issue on the basis of individual research; engaging in a variety of pre-writing exercises; drafting and revising an essay; and using peer feedback to improve students' own and others' work in discussion and written comments.</p> <p>The class is taught in English, and students are encouraged to speak English in class. Graduate-student teaching assistants are available in the Komaba Writers' Studio to help students with their research, writing, and discussion.</p>		
成績評価方法 関連ホームページ	<p>Grades are based on writing assignments, discussion, and participation in class activities. http://ale.c.u-tokyo.ac.jp/</p>		
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTASを参照すること			

時間割 コード	曜限	担当教員	教室	対象クラス
50029	月 2	BROOKS Britton	119	1年 文一二(8,22)文三(5,7,9)
50030	月 2	ディーエル グレゴリー ロジャース	10-103	1年 文一二(8,22)文三(5,7,9)
50031	月 2	モレノ ペナランダ ラケル	E25	1年 文一二(8,22)文三(5,7,9)
50032	月 2	ナオミ バーマン	K201	1年 文一二(8,22)文三(5,7,9)
50034	月 2	ホールマン フランシス キャンドラー	515	1年 文一二(8,22)文三(5,7,9)
50035	月 2	片山 晶子	E39	1年 文一二(8,22)文三(5,7,9)
50036	月 2	Kartika Diana	K301	1年 文一二(8,22)文三(5,7,9)
50037	月 2	沈 尚玉	10-204	1年 文一二(8,22)文三(5,7,9)
50038	月 2	ハンセン キャサリン	10-102	1年 文一二(8,22)文三(5,7,9)
51489	月 2	木村 大輔	K501	1年 文一二(8,22)文三(5,7,9)
50731	木 2	ハンセン キャサリン	10-102	1年 文一二(7,23,26)文三(14)
50732	木 2	BROOKS Britton	119	1年 文一二(7,23,26)文三(14)
50734	木 2	PAZDZIORA JOHN PATRICK	117	1年 文一二(7,23,26)文三(14)
50735	木 2	BUENO Alex Falcon	115	1年 文一二(7,23,26)文三(14)
50736	木 2	片山 晶子	E39	1年 文一二(7,23,26)文三(14)
50737	木 2	DIETZ Richard	518	1年 文一二(7,23,26)文三(14)
50738	木 2	ディーエル グレゴリー ロジャース	10-206	1年 文一二(7,23,26)文三(14)
50739	木 2	VANDEN BUSSCHE, Eric Armand	118	1年 文一二(7,23,26)文三(14)
51495	木 2	木村 大輔	K401	1年 文一二(7,23,26)文三(14)
50786	木 3	ディーエル グレゴリー ロジャース	10-206	1年 文一二(10,17,20)文三(19)
50787	木 3	VANDEN BUSSCHE, Eric Armand	118	1年 文一二(10,17,20)文三(19)
50788	木 3	PAZDZIORA JOHN PATRICK	117	1年 文一二(10,17,20)文三(19)
50790	木 3	BROOKS Britton	119	1年 文一二(10,17,20)文三(19)
50791	木 3	DIETZ Richard	KALS	1年 文一二(10,17,20)文三(19)
50792	木 3	ハンセン キャサリン	10-102	1年 文一二(10,17,20)文三(19)

50793	木 3	BUENO Alex Falcon	115	1年 文一二(10,17,20)文三(19)
50794	木 3	ユウ ジョアン	120	1年 文一二(10,17,20)文三(19)
51497	木 3	木村 大輔	K401	1年 文一二(10,17,20)文三(19)
50891	金 1	BUENO Alex Falcon	115	1年 文一二(1-3,11,25,27)文三(1-3,15)
50892	金 1	沈 尚玉	10-204	1年 文一二(1-3,11,25,27)文三(1-3,15)
50893	金 1	ホールマン フランシス キャンドラー	515	1年 文一二(1-3,11,25,27)文三(1-3,15)
50894	金 1	片山 晶子	E25	1年 文一二(1-3,11,25,27)文三(1-3,15)
50895	金 1	BROOKS Britton	119	1年 文一二(1-3,11,25,27)文三(1-3,15)
50896	金 1	ディーエル グレゴリー ロジャース	10-102	1年 文一二(1-3,11,25,27)文三(1-3,15)
50897	金 1	VANDEN BUSSCHE, Eric Armand	114	1年 文一二(1-3,11,25,27)文三(1-3,15)
50898	金 1	PAZDZIORA JOHN PATRICK	120	1年 文一二(1-3,11,25,27)文三(1-3,15)
50899	金 1	Kartika Diana	K301	1年 文一二(1-3,11,25,27)文三(1-3,15)
51498	金 1	DIETZ Richard	518	1年 文一二(1-3,11,25,27)文三(1-3,15)
50986	金 3	BUENO Alex Falcon	115	1年 文一二(21,28)文三(11,16)
50988	金 3	沈 尚玉	10-204	1年 文一二(21,28)文三(11,16)
50989	金 3	ハンセン キャサリン	10-102	1年 文一二(21,28)文三(11,16)
50990	金 3	PAZDZIORA JOHN PATRICK	120	1年 文一二(21,28)文三(11,16)
50991	金 3	Kartika Diana	K301	1年 文一二(21,28)文三(11,16)
50992	金 3	BROOKS Britton	119	1年 文一二(21,28)文三(11,16)
50993	金 3	VANDEN BUSSCHE, Eric Armand	114	1年 文一二(21,28)文三(11,16)
50994	金 3	ディーエル グレゴリー ロジャース	10-206	1年 文一二(21,28)文三(11,16)
51499	金 3	DIETZ Richard	518	1年 文一二(21,28)文三(11,16)

外国語（英語二列 W）ALESS

Active Learning of English for Science Students (ALESS)			開講区分	A
授業の目標・概要		In this course, students learn about formal scientific writing and style in English; the organization, language, and rhetoric of scientific papers; and the process of writing and preparing formal papers through peer review and revision.		
成績評価方法		Grades are based on writing a research paper, giving a presentation, weekly written assignments, and on participation in class activities.		
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること				
時間割コード	曜限	担当教員	教室	対象クラス
50047	月 2	SEDDON Ryan John	114	1 年 理一(4,35-36)
50049	月 2	マニナン ジョン	K302	1 年 理一(4,35-36)
50050	月 2	神島 智子	116	1 年 理一(4,35-36)
50051	月 2	ジェームズ エリンガー	K401	1 年 理一(4,35-36)
50052	月 2	NADADUR KANNAN Rajalakshmi	117	1 年 理一(4,35-36)
50053	月 2	BORDILOVSKAYA Anna	118	1 年 理一(4,35-36)
51490	月 2	WEITEMIER Adam	518	1 年 理一(4,35-36)
50088	月 3	BORDILOVSKAYA Anna	118	1 年 理一(8,11,21,23-24,31,33)
50089	月 3	タヴァレス ヴァスケス ジェーゴ	KALS	1 年 理一(8,11,21,23-24,31,33)
50090	月 3	マニナン ジョン	K402	1 年 理一(8,11,21,23-24,31,33)
50091	月 3	RUIZ TADA Elisa	115	1 年 理一(8,11,21,23-24,31,33)
50092	月 3	ジェームズ エリンガー	K401	1 年 理一(8,11,21,23-24,31,33)
50093	月 3	SEDDON Ryan John	114	1 年 理一(8,11,21,23-24,31,33)
50094	月 3	ROBB Nigel	10-202	1 年 理一(8,11,21,23-24,31,33)
50095	月 3	PULIDO ARCAS Jesus Alberto	K301	1 年 理一(8,11,21,23-24,31,33)
50096	月 3	神島 智子	116	1 年 理一(8,11,21,23-24,31,33)
50097	月 3	テラシマ アレクサンドラ	119	1 年 理一(8,11,21,23-24,31,33)
50098	月 3	ユウ ジョアン	120	1 年 理一(8,11,21,23-24,31,33)
50099	月 3	モレノ ペナランダラケル	E25	1 年 理一(8,11,21,23-24,31,33)
50100	月 3	ホールマン フランシス キャンドラー	515	1 年 理一(8,11,21,23-24,31,33)
50101	月 3	ナオミ バーマン	K201	1 年 理一(8,11,21,23-24,31,33)
50102	月 3	NADADUR KANNAN Rajalakshmi	117	1 年 理一(8,11,21,23-24,31,33)
50103	月 3	WEITEMIER Adam	518	1 年 理一(8,11,21,23-24,31,33)
50152	月 4	テラシマ アレクサンドラ	119	1 年 理一(12,16)理二三(13)
50153	月 4	RUIZ TADA Elisa	115	1 年 理一(12,16)理二三(13)
50154	月 4	PULIDO ARCAS Jesus Alberto	K301	1 年 理一(12,16)理二三(13)
50156	月 4	マニナン ジョン	K402	1 年 理一(12,16)理二三(13)
50157	月 4	ユウ ジョアン	120	1 年 理一(12,16)理二三(13)
50158	月 4	ROBB Nigel	10-202	1 年 理一(12,16)理二三(13)
51491	月 4	ジェームズ エリンガー	K401	1 年 理一(12,16)理二三(13)
50236	火 1	SEDDON Ryan John	114	1 年 理二三(21,23)

50237	火 1	ジェームズ エリンガー	K401	1年 理二三(21,23)
50239	火 1	ROBB Nigel	10-202	1年 理二三(21,23)
51492	火 1	PULIDO ARCAS Jesus Alberto	K501	1年 理二三(21,23)
50468	水 1	ホールマン フランシス キャンドラー	517	1年 理一(1-3,18,27)
50469	水 1	マニナン ジョン	K301	1年 理一(1-3,18,27)
50470	水 1	ジェームズ エリンガー	K303	1年 理一(1-3,18,27)
50472	水 1	タヴァレス ヴァスケス ジェーゴ	KALS	1年 理一(1-3,18,27)
50473	水 1	ナオミ バーマン	K201	1年 理一(1-3,18,27)
50474	水 1	モレノ ペナランダ ラケル	K401	1年 理一(1-3,18,27)
50756	木 2	SEDDON Ryan John	114	1年 理一(17,20)理二三(20)
50757	木 2	RUIZ TADA Elisa	116	1年 理一(17,20)理二三(20)
50759	木 2	ユウ ジョアン	120	1年 理一(17,20)理二三(20)
50760	木 2	マニナン ジョン	K302	1年 理一(17,20)理二三(20)
50761	木 2	ジェームズ エリンガー	KALS	1年 理一(17,20)理二三(20)
50762	木 2	モレノ ペナランダ ラケル	E25	1年 理一(17,20)理二三(20)
51496	木 2	WEITEMIER Adam	K501	1年 理一(17,20)理二三(20)
50913	金 1	NADADUR KANNAN Rajalakshmi	117	1年 理二三(8,14)
50914	金 1	神島 智子	116	1年 理二三(8,14)
50915	金 1	WEITEMIER Adam	516	1年 理二三(8,14)
50916	金 1	PULIDO ARCAS Jesus Alberto	KALS	1年 理二三(8,14)
50917	金 1	BORDILOVSKAYA Anna	118	1年 理二三(8,14)
51011	金 3	ROBB Nigel	10-202	1年 理一(29,39)理二三(9)
51012	金 3	NADADUR KANNAN Rajalakshmi	117	1年 理一(29,39)理二三(9)
51013	金 3	ナオミ バーマン	KALS	1年 理一(29,39)理二三(9)
51014	金 3	WEITEMIER Adam	516	1年 理一(29,39)理二三(9)
51015	金 3	テラシマ アレクサンドラ	118	1年 理一(29,39)理二三(9)
51016	金 3	神島 智子	116	1年 理一(29,39)理二三(9)
51017	金 3	ホールマン フランシス キャンドラー	515	1年 理一(29,39)理二三(9)
51056	金 4	PULIDO ARCAS Jesus Alberto	K301	1年 理二三(4,11,17)
51057	金 4	BORDILOVSKAYA Anna	115	1年 理二三(4,11,17)
51058	金 4	テラシマ アレクサンドラ	118	1年 理二三(4,11,17)
51059	金 4	ROBB Nigel	10-202	1年 理二三(4,11,17)
51060	金 4	SEDDON Ryan John	K401	1年 理二三(4,11,17)
51061	金 4	ナオミ バーマン	KALS	1年 理二三(4,11,17)

基礎科目 ドイツ語

ドイツ語		開講区分	A
授業の目標・概要	Sセメスターに引き続いて、共通教材『Einblicke』(東京大学教養学部ドイツ語部会編)を用いて、文法と読解を中心に、会話練習を交えながら総合的にドイツ語を学習する。 なお、L系列の科目も積極的に履修することを勧める。		
成績評価方法	平常点および試験によって総合的に評価を行う。平常点は、授業に積極的に参加していることを前提に、授業の「まとめ」やTextについての準備をグループで行うことについて評価する。試験は時間内に複数回行う。		
教科書	次の教科書を使用する。/ Will use the following textbook 書名 ドイツ語共通教科書『Einblicke』 著者(訳者) 東京大学教養学部ドイツ語部会編		
関連ホームページ	http://deutsch.c.u-tokyo.ac.jp/		
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTASを参照すること			

時間割コード	曜限	授業科目名	担当教員	教室	対象クラス
50041	月 2	ドイツ語一列②	大石 紀一郎	10-203	1年 文一二(21)
50059	月 2	ドイツ語一列②	三宅 晶子	122	1年 理一(30)
50060	月 2	ドイツ語一列②	斉藤 渉	101	1年 理一(32)
50149	月 4	ドイツ語一列②	石原 あえか	10-308	1年 文三(15)
50370	火 3	ドイツ語一列②	久保 哲司	155	1年 理一(31)
50429	火 4	ドイツ語一列②	一條 麻美子	166	1年 理一(27)
50430	火 4	ドイツ語一列②	日名 淳裕	1224	1年 理一(28)
50435	火 4	ドイツ語一列②	足立 信彦	1221	1年 理二三(20)
50549	水 2	ドイツ語一列②	高橋 亮介	162	1年 理一(29)
50608	水 3	ドイツ語一列②	足立 信彦	155	1年 文三(16)
50651	水 4	ドイツ語一列②	原田 晶子	154	1年 理一(33)
50658	水 4	ドイツ語一列②	稲葉 治朗	10-203	1年 理二三(19)
50743	木 2	ドイツ語一列②	中丸 禎子	104	1年 文一二(20)
50804	木 3	ドイツ語一列②	田中 純	150	1年 文一二(22)
50826	木 3	ドイツ語一列②	識名 章喜	105	1年 理二三(18)
50836	木 4	ドイツ語一列②	SCHWARZ Thomas	105	1年 文一二(1)文三(1)理一(1)理二三(1)
51026	金 3	ドイツ語一列②	工藤 達也	149	1年 理二三(17)
50660	水 4	ドイツ語特修	一條 麻美子	150	2年 文科 理科
50672	水 5	ドイツ語特修	原田 晶子	154	2年 文科 理科

基礎科目 フランス語

フランス語		開講区分	A		
授業の目標・概要		<p>文科学クラス、理科学クラスとも、一列・二列を通じて文法および講読の基礎を固める。 文科学は、これに加えて演習を履修し、発音や作文、初歩的な会話の練習、文法や講読の応用練習などを行う。 理科学には、文科学の演習に相当するものとして、国際コミュニケーション「フランス語初級（演習）」が自由選択できるので、積極的に参加してほしい。</p>			
成績評価方法 教科書		<p>平常点（出席・授業への参加態度および小テストなど）と学期末試験で総合的に評価する。 授業中に指示をする。／Will specify at class time</p>			
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTASを参照すること					
時間割 コード	曜限	授業科目名	担当教員	教室	対象クラス
50042	月 2	フランス語一列②	飛嶋 隆信	108	1年 文一二(24)
50061	月 2	フランス語一列②	大森 晋輔	162	1年 理一(37)
50112	月 3	フランス語一列②	今橋 映子	105	1年 理一(38)
50113	月 3	フランス語一列②	原 和之	106	1年 理一(39)
50143	月 4	フランス語一列②	大森 晋輔	162	1年 文一二(23)
50423	火 4	フランス語一列②	山田 広昭	158	1年 文一二(26)
50641	水 4	フランス語一列②	増田 一夫	122	1年 文三(17)
50744	木 2	フランス語一列②	伊達 聖伸	113	1年 文一二(27)
50746	木 2	フランス語一列②	郷原 佳以	122	1年 文三(19)
50766	木 2	フランス語一列②	渡邊 淳也	158	1年 理一(35)
50767	木 2	フランス語一列②	中田 健太郎	166	1年 理一(36)
50771	木 2	フランス語一列②	三浦 篤	1211	1年 理二三(22)
50805	木 3	フランス語一列②	篠原 学	152	1年 文一二(25)
50806	木 3	フランス語一列②	松村 剛	156	1年 文一二(28)
50807	木 3	フランス語一列②	森元 庸介	158	1年 文三(18)
50808	木 3	フランス語一列②	坂本 さやか	154	1年 文三(20)
50837	木 4	フランス語一列②	ビゼ	K211	1年 文一二(2)文三(2)理一(2)理二三(2)
50861	木 4	フランス語一列②	篠原 学	152	1年 理二三(23)
51018	金 3	フランス語一列②	飛嶋 隆信	108	1年 理一(34)
51028	金 3	フランス語一列②	鈴木 順子	150	1年 理二三(21)
51029	金 3	フランス語一列②	斎藤 かぐみ	122	1年 理二三(24)
50623	水 3	フランス語特修	寺田 寅彦	108	2年 文科 理科

基礎科目 中国語

中国語		開講区分	A		
授業の目標・概要		中国語の要である発音をしっかりと身につけた上で、文法の基礎を一年かけて一通り学習する。			
		<p>● 文科生は選択必修科目の演習をあわせて履修し、コミュニケーション能力を養成する。クラス別に開講するので、自分のクラスの演習を履修すること。</p> <p>● 理科生には、選択科目の「初級演習」を開講しているので、一列で習ったことをもとにコミュニケーション能力を高めることが望ましい。</p>			
成績評価方法 教科書		<p>期末の筆記試験や小テストの結果など。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 基礎汉语 著者（訳者） 楊凱榮・吉川雅之・張麗群 出版社 白帝社</p>			
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTASを参照すること					
時間割 コード	曜限	授業科目名	担当教員	教室	対象クラス
50045	月 2	中国語一列②	大橋 義武	121	1年 文三(13)
50225	火 1	中国語一列②	阿古 智子	104	1年 理一(3)理二三(3)
50234	火 1	中国語一列②	山影 統	105	1年 理一(22)
50434	火 4	中国語一列②	中村 元哉	1213	1年 理二三(13)
50480	水 1	中国語一列②	波多野 真矢	157	1年 理一(24)
50528	水 2	中国語一列②	伊藤 徳也	523	1年 文一二(17)
50539	水 2	中国語一列②	石井 剛	112	1年 文三(12)
50547	水 2	中国語一列②	瀬地山 角	1221	1年 理一(19)
50548	水 2	中国語一列②	相原 まり子	113	1年 理一(26)
50554	水 2	中国語一列②	波多野 真矢	157	1年 理二三(16)
50640	水 4	中国語一列②	楊 凱榮	149	1年 文三(14)
50741	木 2	中国語一列②	松本 秀士	107	1年 文一二(14)
50765	木 2	中国語一列②	下出 宣子	101	1年 理一(25)
50802	木 3	中国語一列②	下出 宣子	101	1年 文一二(19)
50825	木 3	中国語一列②	河野 直恵	107	1年 理二三(15)
50838	木 4	中国語一列②	毛 興華	153	1年 文一二(3)文三(3)理一(3)理二三(3)
50840	木 4	中国語一列②	渡辺 剛	108	1年 文一二(15)
50841	木 4	中国語一列②	河野 直恵	107	1年 文一二(16)
50903	金 1	中国語一列②	王 英輝	157	1年 文一二(18)
50911	金 1	中国語一列②	小方 伴子	121	1年 理一(20)
51009	金 3	中国語一列②	吉川 雅之	104	1年 理一(23)
51025	金 3	中国語一列②	韓 燕麗	121	1年 理二三(14)
51037	金 4	中国語一列②	岩月 純一	107	1年 文一二(13)
51046	金 4	中国語一列②	田原 史起	102	1年 文三(11)
51055	金 4	中国語一列②	谷垣 真理子	113	1年 理一(21)
50673	水 5	中国語特修	谷垣 真理子	103	2年 文科 理科

基礎科目 ロシア語

ロシア語	開講区分	A
<p>授業の目標・概要</p> <p>初修ロシア語の1年目はロシア語の文字からはじめて、ロシア語の基礎文法を修得する。1年を終えるころには簡単なロシア語テキストが自在に読める能力の獲得をめざす。 文系・理系を問わず、共通教科書を使用する。 Sセメスターに学んだ文法の基本を発展させ、さらに新しい文法項目を学ぶとともに、テキストによって読解の基礎をつける。</p> <p>成績評価方法</p> <p>定期試験と平常点。適宜小テストを行うことがある。</p> <p>教科書</p> <p>次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 Изучаем русский язык с нуля (ロシア語をはじめよう) 著者(訳者) 西中村浩・朝妻恵理子 出版社 朝日出版社</p>		
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTASを参照すること		

時間割 コード	曜限	授業科目名	担当教員	教室	対象クラス
50224	火 1	ロシア語一列②	安岡 治子	103	1年 文一二(4)文三(4)理一(4-5)理二三(4) 【TLP】
50431	火 4	ロシア語一列②	渡邊 日日	1232	1年 理二三(4)
50748	木 2	ロシア語一列②	鳥山 祐介	155	1年 理一(4)
50749	木 2	ロシア語一列②	西中村 浩	157	1年 理一(5)
50975	金 3	ロシア語一列②	渡邊 日日	106	1年 文一二(4)
50995	金 3	ロシア語一列②	乗松 亨平	107	1年 文三(4)
50661	水 4	ロシア語特修	濱田 華練	114	2年 文科 理科

※TLP履修者は、対象クラスでTLPと指定されている授業を履修すること。なお、総合科目L系列 英語中級、英語上級の抽選登録にあたり、一度当選した科目は履修登録を削除することができないため、抽選登録を行う際は、それぞれの開講曜限に注意すること。

基礎科目 スペイン語

スペイン語		開講区分	A		
<p>授業の目標・概要</p> <p>スペイン語初修は、共通教科書を用い、1年間かけて、日常使われるスペイン語を理解し、簡単な文章を読んだり書いたり、またスペイン語でコミュニケーションをとるために必要な文法体系全体を学習する。Sセメスターでは、内容を一列（文法）と二列（講読）に分け、Aセメスターでは一列で文法・講読の両方を扱う。文系では、外国人教員が担当するクラス指定の演習を設け、教科書の進度に合わせ、発音、聞き取り、会話練習、文法の応用練習などを行う。また、スペイン語を集中的に勉強したい学生のために、インテンシヴクラスを週2回開講する。そのほかに、初級作文や初級会話の科目を開講しており、これらを履修することによりスペイン語の運用能力をさらに高めることができる。</p> <p>成績評価方法 各担当教員に任されている。</p> <p>教科書 次の教科書を使用する。/ Will use the following textbook 書名 スペイン語初級 著者（訳者） 東京大学教養学部スペイン語部会 出版社 朝日出版社</p> <p>※講義の詳細・受講するクラスについては、UTASを参照すること</p>					
時間割 コード	曜限	授業科目名	担当教員	教室	対象クラス
50063	月 2	スペイン語一列②	網野 徹哉	150	1年 理二三(7)
50064	月 2	スペイン語一列②	栗林 ゆき絵	151	1年 理二三(10)
50116	月 3	スペイン語一列②	三浦 麻衣子	107	1年 理二三(8)
50145	月 4	スペイン語一列②	三浦 麻衣子	107	1年 文三(9)
50421	火 4	スペイン語一列②	深澤 晴奈	K114	1年 文一二(9)
50527	水 2	スペイン語一列②	川上 英	1214	1年 文一二(12)
50538	水 2	スペイン語一列②	網野 徹哉	108	1年 文三(10)
50545	水 2	スペイン語一列②	久住 真由	109	1年 理一(16)
50546	水 2	スペイン語一列②	深澤 晴奈	K011	1年 理一(18)
50553	水 2	スペイン語一列②	川崎 義史	1212	1年 理二三(12)
50607	水 3	スペイン語一列②	渡辺 暁	113	1年 文三(7)
50635	水 4	スペイン語一列②	石橋 純	511	1年 文一二(10)
50639	水 4	スペイン語一列②	深澤 晴奈	K113	1年 文三(8)
50645	水 4	スペイン語一列②	川上 英	1214	1年 理一(9)
50647	水 4	スペイン語一列②	久住 真由	109	1年 理一(11)
50648	水 4	スペイン語一列②	渡辺 暁	113	1年 理一(17)
50740	木 2	スペイン語一列②	深澤 晴奈	K211	1年 文一二(8)
50753	木 2	スペイン語一列②	愛場 百合子	1214	1年 理一(10)
50755	木 2	スペイン語一列②	倉田 量介	162	1年 理一(15)
50795	木 3	スペイン語一列②	倉田 量介	162	1年 文一二(11)
50815	木 3	スペイン語一列②	若林 大我	155	1年 理一(12)
50824	木 3	スペイン語一列②	中島 聡子	104	1年 理二三(11)
50848	木 4	スペイン語一列②	深澤 晴奈	K113	1年 理一(13)
50849	木 4	スペイン語一列②	若林 大我	155	1年 理一(14)
50860	木 4	スペイン語一列②	中島 聡子	104	1年 理二三(9)
50983	金 3	スペイン語一列②	有田 美保	152	1年 文一二(7)
50624	水 3	スペイン語特修	竹村 文彦	159	2年 文科 理科

基礎科目 韓国朝鮮語

韓国朝鮮語		開講区分	A		
授業の目標・概要	<p>●1年生初修クラス Sセメスターに引き続き、共通教材『ことばの架け橋』を通じて文法と語彙を学んでいき、教科書を終えた後は、さまざまな教材を用いて一年間に学んだ文法知識の応用練習を行います。これらによってAセメスターの授業では、基礎文法を完全に習得した上で、辞書を引きながら新聞・雑誌記事を読む程度、また基本的な内容ならば自分の考えや意見を正確に表現できる程度の力を身につけることを目指します。 文科生はこのほか総合科目L系列において、韓国人教員が担当する「初級（演習）②」を履修し、基礎知識の応用をはかっていきます。</p> <p>●特修クラス これまでに学んだ内容の復習によって、韓国朝鮮語の基本的な能力を身に付けることを目指します。詳しくはUTAS上のシラバスを参照してください。</p>				
成績評価方法	定期試験と平常点（出席、小テスト、課題など）				
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 『ことばの架け橋』（再改訂試用版） 著者（訳者） 生越直樹・曹喜澈・三ツ井崇				
関連ホームページ	http://phiz.c.u-tokyo.ac.jp/~korea/korea_junior.html				
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTASを参照すること					
時間割 コード	曜限	授業科目名	担当教員	教室	対象クラス
50054	月 2	韓国朝鮮語一列②	三ツ井 崇	157	1年 理一(6)
50334	火 3	韓国朝鮮語一列②	三ツ井 崇	1211	1年 文一二(5) 文三(5)
50432	火 4	韓国朝鮮語一列②	生越 直樹	1211	1年 理二三(5)
50662	水 4	韓国朝鮮語特修	生越 直樹	152	2年 文科 理科

基礎科目 イタリア語

イタリア語		開講区分	A		
授業の目標・概要	<p>●1年生初修クラス I列II列では、Sセメスターの終わりまでに、初級文法を一通り習得します。Aセメスターでは、それを応用しながら、比較的平易な現代文を中心としたテキストの読解と、接続法・条件法等の文法知識の整理を行います。テキストとして、東京大学イタリア語教材編集委員会編の文法教科書「イタリア語のスタート Italiano... in partenza!」(白水社)を適宜参照しながら、中級読解教科書『ピアッツァ』(東京大学出版局)を主に使用します。あわせて、ネイティブスピーカーの教員による、文法知識の定着と自然なイタリア語の習得のための演習が必修科目として開講されています。「国際コミュニケーション」として、初級の会話・作文、テキスト分析Iも開講されているので、積極的に受講してください。</p> <p>●既修クラス 総合科目L系列「国際コミュニケーション」科目の中・上級科目を既修者の単位として認定しています。</p> <p>●授業計画 1年生初修 —Aセメスター前半 初級文法まとめ Aセメスター後半 講読中心</p> <p>●学習上のアドバイス 時間割上可能で意欲的な学習者には、総合科目L系列「国際コミュニケーション」で開講される選択科目「初級・中級会話」「初級・中級作文」「読解」「表現練習」等の受講をあわせてすすめます。授業には積極的に参加し、有効な学習としてください。</p>				
成績評価方法 教科書	<p>平常点とセメスター末の筆記試験 次の教科書を使用する。/Will use the following textbook 書名 『Italiano... in partenza! イタリア語のスタート 文法と練習』 著者(訳者) 東京大学イタリア語教材編集委員会編 出版社 白水社</p>				
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTASを参照すること					
時間割 コード	曜限	授業科目名	担当教員	教室	対象クラス
50044	月 2	イタリア語一列②	村松 真理子	K402	1年 文三(6)
50335	火 3	イタリア語一列②	池上 俊一	158	1年 文一二(6)
50433	火 4	イタリア語一列②	宮坂 真紀	108	1年 理二三(6)
50543	水 2	イタリア語一列②	宮坂 真紀	155	1年 理一(8)
50847	木 4	イタリア語一列②	山崎 彩	162	1年 理一(7)
50625	水 3	イタリア語特修	日向 太郎	151	2年 文科 理科

基礎科目 日本語

日本語		開講区分	A			
授業の目標・概要	<p>[注意事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本語を、前期課程外国語科目の既修外国語、或は、[既修・既修選択]の初修外国語相当として選択した学生は、基礎科目一列② [必修科目] の授業に初回授業から必ず出席すること 新カリキュラムにおける日本語科目（基礎科目一列、二列 C、二列 P、総合科目 L 系列）の履修方法等について、基礎科目一列② の初回授業で説明があるので、必ず出席し説明を受けること。 総合科目 L 系列科目(A1, A2)の登録について、UTAS や授業での指示に留意し従うこと。 <p>-----</p> <ul style="list-style-type: none"> 基礎科目 日本語一列② 1 年生 既修外国語（初修扱い外国語） 『テーマで考え議論する日本語 後半 -Active Learning in Academic Japanese -』 <p>文理横断的なテーマに関して、文献リサーチ、読解・聴解、資料収集、調査、協働タスク、ディスカッション、プレゼンテーション、要旨・レジメ執筆等、様々な能動的な協働活動を通して、日本語の諸技能の習得・上達を目指しつつ、現象・問題や他者の意見を適格に理解する力、資料を分析しデータや論拠に基づき考え述べる力、自分の意見を構築し伝える力、議論し合う力、能動的学習力を養う。</p> <p>総合科目 L 系列においては、相互に相補的な授業活動を行う。日本語科目カリキュラム全体・総合科目カリキュラム全体として、様々な分野・目的での四技能の習得・上達にバランス良く資するための授業を設定し、各々の総合科目 L 系列授業において、それぞれ特徴をもつ授業活動を行う。各授業の特徴・焦点目標については、UTAS の各シラバス参照。</p> <p>総合科目 L 系列(一部)において、一列授業で扱うテーマ・内容・活動と連動しつつ、相互に相補的な活動を行う。『基礎科目 日本語一列』で扱うテーマやそのテーマでの読解・聴解・協働タスク・ディスカッション等の活動と連動して、一方で、正確な精読、構文・語彙習得（要約・文作・文章構成等、ライティングを含む）のための活動を行い、一方で、アクティブラーニングの発表・プレゼンテーション・発音演習やレポート執筆・論文執筆等、それぞれに特徴をもつ授業活動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 総合科目 L 系列『日本語上級』 A1 ターム 「テーマで考え議論する日本語 2: 精読、構文・語彙習得・ライティング中心」 「論文執筆・アカデミックライティング 1（準備編）」 「アカデミックプレゼンテーションのための発音」 「文学作品を読む・味わう・まとめる・伝える その1」 総合科目 L 系列『日本語上級』 A2 ターム 「テーマで考え議論する日本語 2: レポート執筆・発表プレゼンテーション中心」 「論文執筆・アカデミックライティング 2（実践編）」 「アカデミックプレゼンテーションのための発音」 「文学作品を読む・味わう・まとめる・伝える その2」 					
成績評価方法	<p>「成績評価方法」は、科目・授業列により異なるので、UTAS 上のそれぞれの科目のページを参照すること。全般的に、毎回の授業活動(および予習・復習)を重視し、出席、授業活動参加、ディスカッション、クイズ、宿題等の課題、発表、試験、レポート等を総合して評価する。詳細については第一回目の授業で配布するシラバスで説明する。</p>					
教科書	<p>その他。/Other</p>					
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること						
時間割コード	開講	曜限	授業科目名	担当教員	教室	対象クラス
50263	A	火 2	日本語一列②	藤井 聖子	10-205	1 年 文科 理科
50926	A	金 2	日本語一列②	藤井 聖子	10-205	1 年 文科 理科

身体運動・健康科学実習Ⅱ

身体運動・健康科学実習Ⅱ		開講区分	A	
授業の目標・概要	<p>週1回の授業を通じて</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.身体および身体運動に関する知識を習得する。 2.自らの身体運動を対象とする実験実習や実技実習を通じて、事物の本質的理解（肌でわかる・体感する）のための基礎技術を習得する。 3.スポーツやトレーニングなどの文化的身体運動の実習による動きの改善・身体能力の向上を通じて、自己の身体の管理・操作技能を習得する。 4.生涯教育としての心身の健康教育・運動習慣の基礎作りを行う。 			
授業計画	<p>第1回 教室で教科書を用いた授業（教室は9号館前の掲示を参照）、種目選択 第2回から 選択した種目での授業 学期中に2度 身体運動の科学的理解を目的とした共通授業を行う。 12月に体力テストを行う。 体育館種目が別の場所に移動し、外種目を体育館で行うこともあるので、9号館前の掲示板を見ること。</p>			
授業の方法	<p>第1回目の授業で、種目選択を行う。スポーツコース（テニス、サッカー等）、フィットネスクラス、サイエンスコースから選択する。その曜限に開設されている種目と説明は https://idaten.c.u-tokyo.ac.jp を参照のこと。 種目選択以降は、各種目に分かれて行う。 基本的には自分の身体を動かして、実習することが第一であるが、各種目により様々なアプローチがなされる。 学期中に2回、身体運動の科学的理解を目的とした共通授業を、通常とは別の場所で行う。教室での授業、身体運動の科学的理解のための授業だけでなく、通常の授業でも教科書「教養としてのスポーツ・身体運動」を用いるので、毎回持ってくる。毎回の授業における心拍数、体力テストの結果等も教科書に記入する。 通常授業での説明、科学的理解のための共通授業、体力テスト等によって、学期末にレポートを提出する。</p>			
成績評価方法	<ol style="list-style-type: none"> 1 出席 身体運動・健康科学実習の意義は実際に身体を動かすことで、身体運動の科学的法則を認識するとともに、健康・体力・技能を増進し、またその方法を習得することにある。そこで出席（遅刻、早退、見学を含む）はきわめて重視される。 2 達成度 各自が選択履修している授業について、学習達成度の評価を行う。 3 体力テスト 12月に行い、評価に含める。 4 レポート 通常授業での説明、共通授業、体力テストの結果等を受けて、学期末にレポートを提出する。 5 その他 授業中にどのような態度で参加し、どのように自己の役割を認識し、実行しているか、学習内容をどれだけ理解しているのか、等を評価する。 			
教科書	<p>次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 教養としての身体運動・健康科学 著者（訳者） 東京大学身体運動科学研究室 出版社 東大出版会</p>			
履修上の注意	<p>種目選択後の種目変更は、特別な事情（病気、怪我など）が無い限り認めない。</p>			
学習上のアドバイス	<p>盗難が多いので注意する。体育館は、土足、飲食禁止。</p>			
関連ホームページ	<p>https://idaten.c.u-tokyo.ac.jp</p>			
<p>※講義の詳細・受講するクラスについては、UTASを参照すること</p>				
時間割コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
50043	月 2	身体運動・健康科学実習Ⅱ	実技担当	1年 文三(4,11,16)理一(5,10-11,15,19,25-26)理二三(8)
50333	火 3	身体運動・健康科学実習Ⅱ	実技担当	1年 文一二(4,8)文三(18)理一(14,17,20,28,34-35,37-38)
50384	火 4	身体運動・健康科学実習Ⅱ	実技担当	1年 文一二(1-3,5,11-12,25)文三(1-3,14-15,17)理二三(1-3,7,12,17,19)
50568	水 3	身体運動・健康科学実習Ⅱ	実技担当	1年 文一二(6-7,14-15)文三(8)理一(7,9,22,27,30)
50637	水 4	身体運動・健康科学実習Ⅱ	実技担当	1年 文一二(16,26-28)文三(9)理一(13,16)理二三(16,20-22)
50747	木 2	身体運動・健康科学実習Ⅱ	実技担当	1年 理一(1-3,12,31-33)理二三(5-6,9-11,15,24)
50785	木 3	身体運動・健康科学実習Ⅱ	実技担当	1年 文一二(9,18,23)文三(6,12)理一(4,18)理二三(4,13-14,23)
50984	金 3	身体運動・健康科学実習Ⅱ	実技担当	1年 文一二(10,13,17,19-20,24)文三(5,7,10)理一(21,36)理二三(18)
51038	金 4	身体運動・健康科学実習Ⅱ	実技担当	1年 文一二(21-22)文三(13,19-20)理一(6,8,23-24,29,39)

身体運動・健康科学実習Ⅱ (メ'イカケア)

身体運動・健康科学実習Ⅱ (メ'イカケア)		開講区分	A
授業の目標・概要	週1回の授業を通じて 1.身体および身体運動に関する知識を習得する。 2.自らの身体運動を対象とする実験実習や実技実習を通じて、事物の本質的理解(肌でわかる・体感する)のための基礎技術を習得する。 3.スポーツやトレーニングなどの文化的身体運動の実習による動きの改善・身体能力の向上を通じて、自己の身体管理・操作技能を習得する。 4.生涯教育としての心身の健康教育・運動習慣の基礎作りを行う。		
授業計画	第1回目の授業は、クラス指定された身体運動・健康科学実習の曜限で受講する。第2回目以降からこの曜限で受講する。 各自の状態に合わせて、実習を行う。		
授業の方法	基本的には自分の身体を動かして、実習することが第一であるが、各自の状態により様々なアプローチがなされる。教科書「教養としてのスポーツ・身体運動」を用いるので、毎回持ってくる。学期末にレポートを提出する。		
成績評価方法	1 出席 身体運動・健康科学実習の意義は実際に身体を動かすことで、身体運動の科学的法則を認識するとともに、健康・体力・技能を増進し、またその方法を習得することにある。そこで出席(遅刻、早退、見学を含む)はきわめて重視される。 2 達成度 各自の学習達成度について評価を行う。 3 レポート 授業での説明、実習内容、その結果等を受けて、学期末にレポートを提出する。 4 その他 授業中にどのような態度で参加し、どのように自己の役割を認識し、実行しているか、学習内容をどれだけ理解しているのか、等を評価する。		
教科書	次の教科書を使用する。/ Will use the following textbook 書名 教養としての身体運動・健康科学 著者(訳者) 東京大学身体運動科学研究室 出版社 東大出版会		
履修上の注意	第1回目の授業は、クラス指定された身体運動・健康科学実習の曜限で受講する。そこで今後の指示を受け、第2回目以降から別の曜限(月1、月5、火1、水1のいずれか)で受講する。 クラス指定された曜限で他の授業を受講する場合のみ、教務登録は実際にメデイカルケアコースを受講する曜限に変更する。その際には、教務課で配布する履修認定カード(3枚綴り)に必要な事項を記入した上で、許可サイン欄に授業担当教員のサインをもらい、1枚目を教員に提出、2枚目を教務課に提出すること。ただし、クラス指定された曜限に他の授業を入れない場合は、教務登録はクラス指定された曜限のままでよい。		
学習上のアドバイス 関連ホームページ	盗難が多いので注意する。体育館は、土足、飲食禁止。 https://idaten.c.u-tokyo.ac.jp		

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTASを参照すること

時間割 コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
50002	月 1	身体運動・健康科学実習Ⅱ (メ'イカケア3)	実技担当	1年 文科 理科
50185	月 5	身体運動・健康科学実習Ⅱ (メ'イカケア1)	実技担当	1年 文科 理科
50240	火 1	身体運動・健康科学実習Ⅱ (メ'イカケア3)	実技担当	1年 文科 理科
50487	水 1	身体運動・健康科学実習Ⅱ (メ'イカケア2)	実技担当	1年 文科 理科

基礎科目 社会科学

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50125	A	法Ⅱ	北村 朋史	法・政治	月 3	1313	1年 文二 文三 2年 文二 文三
講義題目 授業の目標概要	国際社会と法 国際社会には、国内におけるような集権的な統治機関が存在しない。そうした社会において妥当する法とはどのような特徴を有し、どのように機能しているのだろうか。本授業では、近年の具体的な国際紛争事例にも触れながら、国家管轄権、国家領域、海洋の利用、国際通商、武力の行使等にかかわる法について解説し、国際社会における法の役割と限界について考察する。またこうした作業を通じて、法・法学一般に関する基本的な知識や思考の方法を身につけることも目標とする。						
評価方法 教科書 ガイダンス	期末試験によって評価する。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50465	A	法Ⅱ	福岡 安都子	法・政治	水 1	1106	1年 文一(1-14) 2年 文一
講義題目 授業の目標概要	公法学のテキストを読む 【文一のみ履修可】 「法Ⅰ」で法学につき基礎的知識を習得したことを前提に、引き続き、公法学分野の具体的素材とその読解を通じて、解釈の力を養うことを目指す。						
評価方法 教科書 ガイダンス	基本的に学期末試験に基づいて行いますが、授業における各種フィードバックの内容も加味します。 なお、フィッシャー先生担当の2回の授業についても試験を行います。詳細は授業の際に通知します。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50466	A	法Ⅱ	石川 健治	法・政治	水 1	1331	1年 文一(15-22) 2年 文一
講義題目 授業の目標概要	法Ⅱ・法学オードブル かつて民事訴訟法学の泰斗・三ヶ月章教授は、最初で最後の「法学」（現在の「法Ⅰ」）の講義を担当するにあたって、「蟹は自らの甲羅に似せて穴を掘る」ほかないと述懐された。当時学生としてそれを聴講した私が同じ立場にたってみると、やはり全く同様のことを思わざるを得ない。本講義は、いま自分が学生であったら聴いてみたいと思うような「法学入門」をめざすが、それだけに内容は、三ヶ月教授から法学の手ほどきを受け、縁あって憲法学を専攻することになった私の「甲羅」に、おのずから準拠したものになるであろう。						
評価方法 教科書 ガイダンス	学期末の筆記試験により成績を評価する 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 法学入門 著者(訳者) 三ヶ月章 出版社 弘文堂 ISBN 4335300298 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50467	A	法Ⅱ	森田 修	法・政治	水 1	1225	1年 文一(23-28) 2年 文一
講義題目 授業の目標概要	法Ⅱ・生活の中の民法 目標の第一は、契約・不法行為責任・所有権などの民法の基本的な制度と考え方を学ぶことである。 目標の第二は、コンビニ営業の過酷さや、浮気禁止約束といった、身近な現代的紛争事例を取り上げ、その中で民事法がどのような役割を果たしているかを知ることである						
評価方法 教科書 ガイダンス	期末試験による 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50126	A	政治Ⅱ	伊藤 武	法・政治	月 3	1323	1年 文一 2年 文一
講義題目 授業の目標概要	比較政治入門 この授業は、専門課程で学ぶ政治学系科目の基礎として、政治Ⅰで学んだ政治学原論に続き、比較政治の基本的な考え方を身に付けることを目的とします。 比較政治(学)は、国際政治学や政治思想史・政治理論と並ぶ政治学の主要な分野です。特定の国や事例を見るだけでは分からない共通のメカニズムや特徴を、比較の手法や政治学理論を用いて明らかにする政治学です。 授業では、先進国・途上国を含んだ多様な地域を対象に、選挙や政党政治、議会政治など従来重要とされてきた分野に加えて、司法政治など新しい分野も扱います。授業の解説は基本的なレベルから行いますが、新しい研究動向なども紹介しながら必要に応じて発展的内容も扱います。受講者の方は、それぞれの関心に応じて取り組んで下さい。						
評価方法 教科書 ガイダンス	・ 期末試験 ・ 付加的にプレゼンテーション、小テスト、レポートなどの内容を考慮する場合があります。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 政治学の第一歩 著者(訳者) 砂原庸介, 稗田健志, 多湖 淳 出版社 有斐閣 ISBN 978-4-641-15025-6 その他 教科書は必ず入手してください。 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50488	A	政治Ⅱ	浅野 豊美	法・政治	水 1	525	1年 文二 文三 2年 文二 文三
講義題目 授業の目標概要	<p>政治の基礎概念と国民的和解</p> <p>1 「政治とは何か」「何のために政治学を勉強するのか」という根本的な問いから始まって、主権(sovreignty)、憲法(constitution)、政治体制(political regime)、国家(state)、社会(society)、民主主義(democracy)、国民(nation)、市民(citizen)、政党(political party)、選挙(election)など、政治を理解するために必要な基本的な諸概念に関する理解を深め、今後、日本国内の政治に関する種々の現象、周辺地域のアジア諸国の民主化プロセス、その後の国内政治と国際政治との共振現象としての「歴史問題」を冷静に分析するのに必要な基礎を身につける。</p> <p>2 民主主義(democracy)とは何であり、その主体としての国民や、その客体としての国家的統治とは何かという問題を、対外政策を含めた公共性の実現プロセスとして考える能力を養う。民主主義に関する既存の見方も時代によって変遷しているので、夜警国家時代、福祉国家時代、小さな政府を基礎とするグローバル化の時代に大別しながら考察を深める。</p> <p>3 各時代によって異なる政治と経済との関係について、歴史的な展開過程やいくつかの争点を選んで考察を深める。同様に、各時代によって異なるところの、国民的社会を自己再生してきた基盤としての文化と政治との関係にも視野を広げて、現代の日本と周辺諸国との民主主義体制の共存のあり方という観点から、「国民的和解」を焦点にして歴史問題にアプローチする視点を各自に築いてもらう。</p> <p>4 アジアの周辺地域が民主化によっていかに政治体制を変化させたのかという問題は、通常、比較政治という分野に属するが、この民主化の問題を日本自身のそれとの比較を念頭に、思考の対象とできるようにする。日本では1955年以来、自民党中心の一党優位体制が続いてきたが、1993-96年、および、2009-2012年には、それまでの野党が政権を掌握した。(2009年総選挙では、野党民主党が308議席を獲得、自民党が119議席と大敗し小選挙区制の効果が発揮された)しかしこうした日本政治における政権交代が、新しい歴史観を伴うものでなかったのに対して、日本周辺地域としての韓国と台湾における民主化は、新たな歴史認識を掲げた勢力による平和的体制変革として進められた。韓国における民衆史、台湾における台湾史は民主化運動に対する幅広い支持を集める手段となり、民主化以前の政治体制の象徴となった存在こそ「歴史の被害者」であった。歴史解釈権を伴ってこそ、アジアの民主化は成功したといえる。また、被害者の人権や女性の尊厳という普遍的価値の実現は、体制の変革・民主化と円満に自然調和して、少なくともある時点まで進んだといえる。また、こうした観点から日本を見れば、冷戦下の国内的冷戦状況の下で「革新」の側が掲げてきた異なる歴史認識こそ、「未完の民主化」とその契機としての明治の自由民権運動、大正デモクラシー、そして占領下の民主化をつなぐ歴史観であったといえることができる。</p> <p>以上、日本の大学で政治学の講義をする際には、日本の政治をメインの対象とせざるを得ないが、留学生を含めて日本国籍を持たない受講生がいることや、近年の出口が見えない歴史問題の展開をも念頭に、政治と経済、そして政治と文化の関係にも目配せをしながら、大きな公共性の抽出過程としての政治、国内政治と国際政治のレベルを超えた共振現象、そして国民的和解に向けた新たな学の試みにも注意を向けてほしい。</p> <p>教科書は特に指定しないが、授業の内容に関して以下の参考書が授業を理解するために一定程度有用だと考える。各会の授業に関して、下記のABCDの参考書の関連部分を示すので、授業を理解するための参考にしてもらいたい。</p> <p>A 久米郁男・川出良枝・古城佳子・田中愛治・真淵勝 編著『New Liberal Arts Selection 政治学 Political Science: Scope and Theory』有斐閣、2003年)</p> <p>B 川崎修・杉田敦 編『現代政治理論』有斐閣、2005年</p> <p>C 荻部直・宇野重規・中本義彦編『政治学をつかむ』有斐閣、2011年</p> <p>D 川出良枝・谷口将紀編『政治学』東京大学出版会、2012年</p> <p>E マーク・ピーティ、浅野豊美訳『植民地—20世紀日本帝国50年の興亡』慈学社、2012年。</p> <p>また、特に、民主主義(democracy)に関しては、以下が手がかりとして有益である。</p> <p>杉田敦『デモクラシーの論じ方：論争の政治』ちくま新書、2001年</p> <p>杉田敦『政治的思考』岩波新書、2013年</p> <p>森政稔『変貌する民主主義』ちくま新書、2008年；森政稔『迷走する民主主義』ちくま新書、2016年。</p> <p>宇野重規『<私>時代のデモクラシー』岩波新書、2010年</p> <p>佐々木毅『民主主義という不思議な仕組み』筑摩書房、2007年</p> <p>中北浩爾『現代日本の政党デモクラシー』岩波新書、2012年</p> <p>丸山眞男著、杉田敦編『丸山眞男レクシオン』平凡社ライブラリー(文庫)、2010年</p> <p>杉田敦『境界線の政治学 増補版』岩波現代文庫、2015年。</p> <p>このうち、2019年度秋の授業では、 杉田敦『境界線の政治学 増補版』(岩波現代文庫、2015年)に関するレポートを提出してもらう。</p>						
評価方法 教科書 ガイダンス	<p>定期試験</p> <p>教科書は使用しない。／Will not use textbook</p> <p>第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time</p>						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50127	A	経済Ⅱ	丸山 真人	経済・統計	月 3	900	1年 文科 2年 文科
講義題目 授業の目標概要	人間の経済と資本の論理 人間の経済の根底には市場化に馴染まないものが実在しており、それを分析するためには、自然と人間との間の物質代謝や非市場的社会関係を射程に入れた広義の経済学のアプローチが必要である。ところで、現代資本主義は自然環境のみならず、社会関係や人間自身までも擬制的に資本化し、人間生活の全体を市場関係で覆い尽くそうとしている。このような現象の背後には資本の運動法則が存在しており、それを解明するには「資本論」のアプローチが不可欠である。本講義では、これらのアプローチの基本を説明し、人間の経済を資本の論理から解放する方途を探求することを課題とする。						
評価方法 教科書 ガイダンス	期末試験 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50456	A	経済Ⅱ	竹野 太三	経済・統計	火 5	900	1年 文科 2年 文科
講義題目 授業の目標概要	経済Ⅱ 価格理論 本講義では、経済学に興味を持つ前期課程文科生を対象に、価格理論の解説を行います。主として個人や単一企業レベルにおける意志決定過程の考察を基に、完全競争市場や不完全競争市場で達成される均衡の特性の分析を試みることに加え、厚生経済の第一、および第二定理に示される知見を紹介することを目的とします。従って、市場全体、或いは経済全体の特性を示す指標（例えば失業率やインフレ率、経済成長率など）に関わる分析をするマクロ経済学の解説は、本講義では行いません。なお、ミクロ経済学、マクロ経済学のいずれを先に学ぶかは重要ではありません。（履修計画の参考まで。）						
評価方法	持ち込み不可の期末試験によります。						
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 経済学の基礎 価格理論 著者(訳者) 竹野太三 出版社 東京大学出版会 ISBN 978-4-13-042146-1						
ガイダンス	第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50128	A	社会Ⅱ	井上 彰	社会・社会思想史	月 3	531	1年 文科 2年 文科
講義題目 授業の目標概要	分析的政治哲学入門 本授業では、現代英米圏を中心に、政治理論においてメインストリームを形成している「分析的政治哲学」について学習する。分析的政治哲学とは、19世紀に生まれ、20世紀初頭から飛躍的な発展を遂げた分析哲学の道具立てを用いて、政治哲学上の鍵概念である「正義」「自由」「平等」等の構成要件を解明し、それらの主題や適用範囲を明らかにする学問領域である。本授業では、20世紀を代表する分析的政治哲学者であるJ・ロールズの議論をおさえうえて、そこから発展した様々な論争の検討を通じて、分析的政治哲学の主題や鍵概念の適用範囲をめぐる議論についてわかりやすく解説する。その射程は、グローバル正義論や地球環境（排出権）問題、そして移民問題といった具体的な論点も含まれる。						
評価方法 教科書 ガイダンス	筆記試験の点数に、授業中に複数回課す小レポートの点数を加えて評価する。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50489	A	数学 I	長谷川 立	数学	水 1	761	1年 文科 2年 文科
講義題目 授業の目標概要	数学 I 文科生向けに一変数関数の微分法と積分法に関する基礎的内容を扱う科目である。社会科学に関連する題材を織り交ぜ、数学的な概念を把握することに重点をおいて講義する。講義内容はおおむね授業計画に記載されている通りであるが、担当教員によって順序は異なることがある。						
評価方法 教科書	定期試験による。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 入門微分積分 著者(訳者) 三宅敏恒 出版社 培風館						
ガイダンス	特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50490	A	数学 II	辻 雄	数学	水 1	743	1年 文科 2年 文科
講義題目 授業の目標概要	数学 II 文科生向けの、ベクトルと行列に関する基礎的内容や、計算手法を理解するための科目である。講義内容はおおむね授業計画に記載されている通りであるが、担当教員によって順序は異なることがある。この科目を履修した後に、より進んだ内容を総合科目「数理科学概論 II」で学ぶことができる。						
評価方法 教科書 ガイダンス	主として定期試験によるが、担当教員によっては小テストやレポートを含めて評価する場合がある。 授業中に指示をする。／Will specify at class time 特に行わない。／Will not conduct guidance						

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50491	A	数学 II	坂井 秀隆	数学	水 1	532	1年 文科 2年 文科
講義題目 授業の目標概要	数学 II 文科生向けの、ベクトルと行列に関する基礎的内容や、計算手法を理解するための科目である。講義内容はおおむね授業計画に記載されている通りであるが、担当教員によって順序は異なることがある。この科目を履修した後に、より進んだ内容を総合科目「数理科学概論 II」で学ぶことができる。						
評価方法 教科書 ガイダンス	主として定期試験によるが、担当教員によっては小テストやレポートを含めて評価する場合がある。 授業中に指示をする。／Will specify at class time 特に行わない。／Will not conduct guidance						

基礎科目 人文科学

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50129	A	哲学Ⅱ	高村 夏輝	哲学・科学史	月 3	1331	1年 文科 2年 文科
講義題目 授業の目標概要		<p>近代哲学と心身問題 ヨーロッパにおいて、アリストテレスやキリスト教の影響下にあるものから近代科学を支えるものへと世界観が変わっていきのに応じて、物質と心に関する理解の仕方も変化し、両者の関係を問う心身問題が深刻化した。 この授業では、デカルト・ホッブズ・スピノザ・ライプニッツなど、主に17世紀に活躍した哲学者たちの心身問題への取り組みを紹介していく。それを通じて、心身問題の基本的な問題構成、それに対する代表的な解決方法およびそれらが抱える問題点を理解することを目的とする。</p>					
評価方法 教科書 ガイダンス		<p>出席と授業時の態度、定期試験の成績を勘案して評価する。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日を行う。／Will conduct guidance at first time</p>					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50457	A	哲学Ⅱ	山本 芳久	哲学・科学史	火 5	1323	1年 文科 2年 文科
講義題目 授業の目標概要		<p>哲学の原典を読む 西洋哲学の基礎を、その原点に即しながら学ぶ。具体的には、古代ギリシアの哲学者アリストテレスの『ニコマコス倫理学』と、西洋中世の哲学者トマス・アクィナスの『神学大全』を中心に、基本的なテキストを抜粋し、日本語で丁寧に読解していく。関連する範囲で、他の哲学者のテキストも読解する。</p>					
評価方法 教科書 ガイダンス		<p>試験。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 トマス・アクィナス 理性と神秘 著者(訳者) 山本芳久 出版社 岩波新書 ISBN 978-4004316916 その他 特に行わない。／Will not conduct guidance</p>					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50130	A	倫理Ⅱ	田中 智彦	哲学・科学史	月 3	K212	1年 文科 2年 文科
講義題目 授業の目標概要		<p>〈いのち〉と〈ひと〉のいまを問う In order to have a sense of who we are, we have to have a notion of how we have become, and of where we are going. Charles Taylor 私たちは今日、いのちとひとをめぐる倫理的にどのような状況にあるのだろうか。またその状況は、どのようにして今日あるようになったのだろうか。どのような明日をもたらさうのだろうか。 この授業ではこうした問いについて考えてゆきたい。その過程において、私たちの生・病・老・死を取り囲んでいるいわば「4つのbio」——生権力 (biopower)・生政治 (biopolitics)・生命倫理 (bioethics)・生命科学技術 (biotechnology)——を歴史的・批判的に検討することになるだろう。 したがって、倫理の諸理論を概説するという形はとらない。むしろ過去の、また現在の具体的な事例をとりあげ、そこにどのような問題を見いだすか、それらをどのように考えるかに関して一つの視座を示すことをつうじて、受講者一人ひとりが「ひととして限りあるいのちをいかに生きるべきか」という問いを自ら探究する手がかりを提供したいと思っている。</p>					
評価方法 教科書 ガイダンス		<p>原則として〈レポート 75%〉〈授業参加度 25%〉で評価する。ただし、受講者数によってはレポートを試験に変更することもありうる。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance</p>					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50458	A	歴史Ⅰ	大塚 修	歴史学部会	火 5	1101	1年 文科 2年 文科
講義題目 授業の目標概要		<p>イランの歴史と文化</p> <p>この授業では、中東イスラーム地域の中でも、イランを中心とする地域の歴史と文化を扱います。イランは1979年のイスラーム革命以降、イスラーム的価値観に基づく国家づくりを掲げ、国際社会から孤立してきました。特に2018年にアメリカが核合意を離脱して以降、アメリカとの対立はいっそう深まっている状況にあります。しかし、中東イスラーム地域におけるイランの重要性については、いまだに十分な知識が提供されているとは言えない状況にはあります。イスラーム文化は非アラブ圏においても、各地域で独自の発展を遂げてきました。特に、イラン文化の影響は中央アジア、インド、トルコなど広範囲に及び、イスラームという宗教やその文化を考える上で看過できない重要な位置をしめています。そこで、この授業では、イスラーム以前の在来文化と融合しながら発展してきたイラン地域固有のイスラームの在り方を提示し、アラブ世界に代表される一般的なイスラーム認識を相対化することを目指します。それと同時に、現代のイランに関する諸問題を考えるための基礎的な知識を提供します。</p>					
評価方法 教科書 ガイダンス		<p>期末試験（60%）、平常点（40%）</p> <p>教科書は使用しない。／Will not use textbook</p> <p>特に行わない。／Will not conduct guidance</p>					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50131	A	歴史Ⅱ	桜井 英治	歴史学部会	月 3	K211	1年 文科 2年 文科
講義題目 授業の目標概要		<p>歴史学を知る</p> <p>「歴史を学んで何になるんだろう」——年号や人名の暗記に苦しんだ受験勉強の最中に、そんな風に思ったことはないだろうか。しかし歴史学とはもちろん暗記ではない。「史料に基づき過去の人間生活の事象を研究する学問」である。それは専門的な学問領域であると同時に、“歴史学的にみる・考える”という普遍的な思考力を身に付けるためのトレーニングでもある。物事を長いタイムスパンで捉える力、経験不可能な物事に対するリアルな推測力、「現在」を相対的に視る力——歴史学によって必然的に養われるこれらの力は、過去を振り返るときだけでなく、今を生き、未来を踏み誤らないためにも必要不可欠のものだろう。</p> <p>この授業では、受講生が歴史学の基礎を学びながら、“歴史学的にみる・考える”力を養うことを目的に、教養学部の6名の歴史学教員がリレー形式で講義する。歴史学の研究とは、どのような発想と手法によって進められ、その結果どのような歴史像が描き出されるのか。歴史学を専門的に学びたい学生ばかりでなく、“歴史学的にみる・考える”力を身に付けたいと考えるすべての文科生に受講してほしい。</p>					
評価方法 教科書 ガイダンス		<p>学期末の試験を主とし、授業中の課題などを加味して総合的に判断する。</p> <p>教科書は使用しない。／Will not use textbook</p> <p>第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time</p>					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50132	A	ことばと文学Ⅱ	谷口 洋	国文・漢文学	月 3	109	1年 文科 2年 文科
講義題目 授業の目標概要		<p>うたをめぐるものがたり、ものがたりのなかのうた：中国古典文学の場合</p> <p>「うた」と「ものがたり」とは、文学の二大分類とも言い得るものだが、ややもすると、両者は別々にとらえられる傾向にある。研究者の間でも、「ご専門は韻文ですか、散文ですか」「私は小説が専門なんで、詩はちょっと……」というような会話がされたりもする。しかし歴史的に見れば、両者はむしろ相互に分かちがたく絡み合っているのが普通であった。</p> <p>ここでは、中国古典文学を例に取りあげるが、日本の場合でも『古事記』や『伊勢物語』がすぐに思い浮かぶように、問題自体は文学一般に普遍的なものである。中国文学についての知見を得ること、文学研究の視点を得ることの両方が目標である。</p>					
評価方法 教科書 ガイダンス		<p>学期末のレポートを主とし、学期途中の小レポートを勘案する。</p> <p>プリントを配布する。／Will distribute handouts</p> <p>特に行わない。／Will not conduct guidance</p>					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50459	A	ことばと文学Ⅲ	矢田 勉	国文・漢文学	火 5	1225	1年 文科 2年 文科
講義題目 授業の目標概要		日本語史の未解決問題 日本語は、世界の諸言語の中ではその歴史の変遷に関わる資料に恵まれた言語に属する。また、語彙構造については中国語を初めとする外国語の大きな影響を蒙り、音声・音韻構造についても中国語等の影響をその史的变化の上に受けているが、文法構造については大きな影響を受けていない、という点でも、言語の史的变化に関する、興味深い事例を一般言語史研究に提供できる研究対象である。しかしながら、確実に近縁関係を指摘出来る言語が発見されていないことはその研究上の大きな制約でもあり、そもそも、本来は音声という形態をとるのが一次的な姿である言語を、文献から復元することに関わる、言語史に普遍的な研究上の困難もある。本講義では、日本語史の重要事項を押さえつつ、今後の解明が待たれる問題について紹介していく。					
評価方法 教科書 ガイダンス		授業中の課題への取り組み（30%）と期末試験（70%）により総合的に判定する。 プリントを配布する。／Will distribute handouts 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50133	A	ことばと文学Ⅳ	白井 重範	中国語	月 3	104	1年 文科 2年 文科
講義題目 授業の目標概要		中国近現代小説を読む 中国が近代化の必要に迫られた19世紀から20世紀初頭までの歴史的・社会的背景をふまえた上で、20世紀前半の中国で書かれた短編小説を読んでいく。当時の中国で、文学は救国・社会改革のための道具としての側面が強く意識され、文学作品を通じて様々な社会問題が提起された。また、伝統的な社会規範から脱却し、西洋的な価値観を取り入れる必要性も、主として文学作品を通じて宣伝された。ただし、識字率の低さ、貧困率の高さ、伝統への愛着の深さ、諸外国の中国侵攻等々により、文学による社会改造は順調に進まなかった。それでも、人間の生き方を巡る諸問題を分析した作品が数多く生まれ、その中には21世紀の日本に生きる私たちにも、一定程度共感可能なものがあるように思われる。この機会に、前世紀の中国知識人の想像力と時空を超えた交流が可能かどうか、確かめてみてほしい。					
評価方法		コメントペーパー（約20%）、口頭発表（約30%）、レポート（約50%）。 毎回の授業で、授業内容に関する質問や自らの見解、作品に対する感想等を書いたコメントペーパーを提出する。発表は、履修者の数が多い場合は全員にまわらない可能性もあり、その際は代替手段を講ずる。レポートのテーマは、受講者と相談の上決定する。					
教科書 ガイダンス		プリントを配布する。／Will distribute handouts 特に行わない。／Will not conduct guidance					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50134	A	心理Ⅱ	本吉 勇	心理・教育学	月 3	525	1年 文科 2年 文科
講義題目 授業の目標概要		心理学概論 人間は、環境から受け取った光や音の情報をもとに、外界のモノや出来事を認識し、過去の記憶や与えられた状況に応じて適切に反応し、また他の人間と相互作用することができる。このすぐれた知的な能力はすべて脳の情報処理によるものである。認知科学(cognitive science)とは、心理学・神経生理学・情報工学が密接に結びつきながら、その仕組みを解明し制御することをめざす巨大な学問領域である。 本講義では、多くの錯覚デモや模擬実験を体験しながら、知覚、認識、記憶、感情、思考、社会性といった「人の心の基本的な仕組み及び働き」を支えている脳情報処理の原理原則と、その背後にある生理学的・計算論的メカニズムの基礎を学ぶ。それによって、進化と学習が生み出した優れた情報処理マシンとしての脳と人間を理解するための視点を身につけることをめざす。人工知能を含めた現代と未来の脳工学技術や「心理学の成り立ち」にも触れる。					
評価方法 教科書 ガイダンス		出席および期末試験による。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 第一回授業日に行う。／Will conduct guidance at first time					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	教室	対象
50492	A	心理Ⅱ	伊村 知子	心理・教育学	水 1	1313	1年 文科 2年 文科
講義題目 授業の目標概要	心理学概論 ヒトの心は、発達とともに変化するものであると同時に、環境への適応をとおして形づくられた進化の産物である。この講義では、発達と進化の視点から心理学の成り立ちをとらえることにより、人の心の基本的な仕組み及び働き、ヒトに固有の心の特徴、心の普遍性と多様性について理解を深める。前半は、乳幼児の心的機能の発達、後半は、ヒトを含む霊長類などの動物との比較をとおして心的機能の発生について概観する。						
評価方法 教科書 ガイダンス	期末試験により評価する（持込不可）。 教科書は使用しない。／Will not use textbook 特に行わない。／Will not conduct guidance						

基礎実験

基礎実験	開講区分	A 1 / A 2									
<p>授業の目標・概要</p> <p>自然科学の学習に不可欠な基本的な知識・技能を習得する。 1) 将来の自然科学の発展に対応できるように、自然科学諸分野の基礎的な実験方法と概念を理解できるようにする。 2) 基礎講義の内容を、基礎実験によってよりよく理解できるようにする。 3) 未知の自然現象の解明を目的とする研究実験に必要な観察力・姿勢を養い、みずから実験を計画する場合に不可欠な基本的技法を習得できるようにする。</p> <p>月曜から金曜の指定された曜日に週1回受講する。</p> <p>基礎実験は班に別れて行う。班分け、実施日程ならびに各班の実験種目ローテーションを KOMCEE East に掲示するので前もって確認しておくこと。</p>											
<p>授業の方法</p> <p>【実験開始と終了】 13:00 に実験を開始する。その時に、実験に関する説明・注意等をするので遅刻は厳禁である。 化学実験では13:20以降の遅刻は必ず欠席扱いとなる。 ただし、13:20以内の遅刻でも予習が不足していた場合、欠席扱いになることがあるので注意すること。 物理学実験では13:30以降の遅刻は欠席扱いとなる。 実験が終了し、データの解析を終えたら、実験ノートと実験報告書に必要な事項を書き、要求されているサンプル等を持って、試問を受けること。OKならばノートに検印を受ける。 きちんと後片付けをしてすみやかに退室すること。内容が十分でない場合は、再実験、再解析を指示する。</p> <p>欠席：原則として、欠席に対する補充実験は認めない。 遅刻：遅刻は大きく減点する。 予習：必ず自分が受講する種目を予習しておくこと。予習してこない場合、実験の進行に支障を来す。グループで実験を行う場合、他のメンバーに大変迷惑をかけることになる。 また、実験全体の流れを前もって把握しておくことは事故を回避するためにも必ず必要なことである。従って、予習を行ってこなかったものに対しては実験を行うことを認めない。 早退：早退は欠席扱いとなる。 後片付け：後片付けが悪い場合は減点とする。 退室：実験を終了したら必ず終了時のチェック、試問を受けること。OKならばすみやかに退室する。</p> <p>【用意するもの】 物理系種目：教科書『基礎物理学実験』、実験ノート(B5版)、グラフ用紙、計算機を用意すること。 化学系種目：教科書『基礎化学実験』、実験ノート(B5版)、計算機、白衣、保護メガネを用意すること。</p> <p>【提出物】 物理系実験：実験終了後、実験ノート、解析結果を提示し、試問を受け、最終実験日に実験ノートを提出する 化学系実験：実験終了後、実験ノート、サンプル、グラフなどを提示し、実験報告を行い、1週間後に実験報告書を提出する</p>											
<p>成績評価方法</p>	<p>成績は、出席、予習、実験ノート、試問、後片付け、提出物（化学実験は実験報告書、物理学実験は実験ノート）で評価する。</p>										
<p>教科書</p>	<p>次の教科書を使用する。/ Will use the following textbook</p> <table border="0"> <tr> <td>書名</td> <td>『基礎物理学実験』</td> <td>『基礎化学実験』</td> </tr> <tr> <td>著者（訳者）</td> <td>基礎物理学実験テキスト編集委員会、</td> <td>教養学部化学部会</td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>学術図書出版社、</td> <td>東京化学同人</td> </tr> </table>		書名	『基礎物理学実験』	『基礎化学実験』	著者（訳者）	基礎物理学実験テキスト編集委員会、	教養学部化学部会	出版社	学術図書出版社、	東京化学同人
書名	『基礎物理学実験』	『基礎化学実験』									
著者（訳者）	基礎物理学実験テキスト編集委員会、	教養学部化学部会									
出版社	学術図書出版社、	東京化学同人									
<p>履修上の注意</p>	<p>過去ノートの持ち込みはカンニング行為とみなす 携帯・スマホ・デジカメなどの記憶媒体の使用は禁止。 使用は不正行為とみなし厳正に処分する。 館内および外階段は全面禁煙とする。実験室内は飲食禁止。</p>										
<p>関連ホームページ</p>	<p>予習し、教科書、ノート、グラフ用紙、計算機、白衣、保護メガネ等実験に必要な物を持参すること。</p>										

※講義の詳細については、UTAS を参照すること

時間割コード	開講	曜限	科目名	対象クラス
50082	A 1	月 3,月 4	基礎実験 I (物理学)	1 年 理一(1-5,7,9,13-14,18)
50365	A 1	火 3,火 4	基礎実験 I (物理学)	1 年 理一(23-25,29,33,36,39)
50612	A 1	水 3,水 4	基礎実験 I (物理学)	1 年 理一(6,12,20-21,31,34-35)
50810	A 1	木 3,木 4	基礎実験 I (物理学)	1 年 理一(8,10-11,15-17,19)
51007	A 1	金 3,金 4	基礎実験 I (物理学)	1 年 理一(22,26-28,30,32,37-38)
60004	A 2	月 3,月 4	基礎実験 II (物理学)	1 年 理一(1-5,7,9,13-14,18)

基礎実験

60052	A 2	火 3,火 4	基礎実験Ⅱ(物理学)	1年 理一(23-25,29,33,36,39)
60171	A 2	水 3,水 4	基礎実験Ⅱ(物理学)	1年 理一(6,12,20-21,31,34-35)
60176	A 2	木 3,木 4	基礎実験Ⅱ(物理学)	1年 理一(8,10-11,15-17,19)
60181	A 2	金 3,金 4	基礎実験Ⅱ(物理学)	1年 理一(22,26-28,30,32,37-38)
50084	A 1	月 3,月 4	基礎実験Ⅰ(化学)	1年 理一(1-5,7,9,13-14,18)
50369	A 1	火 3,火 4	基礎実験Ⅰ(化学)	1年 理一(23-25,29,33,36,39)
50616	A 1	水 3,水 4	基礎実験Ⅰ(化学)	1年 理一(6,12,20-21,31,34-35)
50814	A 1	木 3,木 4	基礎実験Ⅰ(化学)	1年 理一(8,10-11,15-17,19)
51008	A 1	金 3,金 4	基礎実験Ⅰ(化学)	1年 理一(22,26-28,30,32,37-38)
60005	A 2	月 3,月 4	基礎実験Ⅱ(化学)	1年 理一(1-5,7,9,13-14,18)
60053	A 2	火 3,火 4	基礎実験Ⅱ(化学)	1年 理一(23-25,29,33,36,39)
60172	A 2	水 3,水 4	基礎実験Ⅱ(化学)	1年 理一(6,12,20-21,31,34-35)
60177	A 2	木 3,木 4	基礎実験Ⅱ(化学)	1年 理一(8,10-11,15-17,19)
60182	A 2	金 3,金 4	基礎実験Ⅱ(化学)	1年 理一(22,26-28,30,32,37-38)
50114	A 1	月 3,月 4	基礎物理学実験	1年 理二三(4,6,9,11) 奇数
50372	A 1	火 3,火 4	基礎物理学実験	1年 理二三(10,16,21,24) 奇数
50621	A 1	水 3,水 4	基礎物理学実験	1年 理二三(14-15,17-18) 奇数
50822	A 1	木 3,木 4	基礎物理学実験	1年 理二三(5,8,19-20,22) 奇数
51019	A 1	金 3,金 4	基礎物理学実験	1年 理二三(1-3,7,12-13,23) 奇数
60006	A 2	月 3,月 4	基礎物理学実験	1年 理二三(4,6,9,11) 偶数
60054	A 2	火 3,火 4	基礎物理学実験	1年 理二三(10,16,21,24) 偶数
60173	A 2	水 3,水 4	基礎物理学実験	1年 理二三(14-15,17-18) 偶数
60178	A 2	木 3,木 4	基礎物理学実験	1年 理二三(5,8,19-20,22) 偶数
60183	A 2	金 3,金 4	基礎物理学実験	1年 理二三(1-3,7,12-13,23) 偶数
50115	A 1	月 3,月 4	基礎化学実験	1年 理二三(4,6,9,11) 偶数
50373	A 1	火 3,火 4	基礎化学実験	1年 理二三(10,16,21,24) 偶数
50622	A 1	水 3,水 4	基礎化学実験	1年 理二三(14-15,17-18) 偶数
50823	A 1	木 3,木 4	基礎化学実験	1年 理二三(5,8,19-20,22) 偶数
51020	A 1	金 3,金 4	基礎化学実験	1年 理二三(1-3,7,12-13,23) 偶数
60007	A 2	月 3,月 4	基礎化学実験	1年 理二三(4,6,9,11) 奇数
60055	A 2	火 3,火 4	基礎化学実験	1年 理二三(10,16,21,24) 奇数
60174	A 2	水 3,水 4	基礎化学実験	1年 理二三(14-15,17-18) 奇数
60179	A 2	木 3,木 4	基礎化学実験	1年 理二三(5,8,19-20,22) 奇数
60184	A 2	金 3,金 4	基礎化学実験	1年 理二三(1-3,7,12-13,23) 奇数

微分積分学②

微分積分学②		開講区分	A	
<p>授業の目標・概要</p> <p>代数学、幾何学とともに、数学の根幹をなす解析学について、その基本的な考え方や方法を学ぶ。力学における運動方程式などに代表されるように、自然界の多くの現象が、微分積分学を用いて記述される。微分積分学は、あらゆる科学技術の基礎となっている。微分積分学は17世紀末に、ニュートンやライブニッツらによって創成された。ニュートンは量の変化の記述に注目し、速度、加速度などの物理量を表現するために微分概念を導入した。「微分積分学の基本定理」により、区分求積法によって定義される積分は、微分の逆操作であることが、明確に認識されるようになった。</p> <p>微分積分学では、極限をとること、無限和をとることなどの操作が重要な役割を果たす。このような微分積分学の基礎となる極限の厳密な定義は、19世紀後半から整えられていった。この授業では、「数理科学基礎」で学んだ極限の扱いに基づき、微分積分学の基礎と応用を学ぶ。具体的な項目は以下の通りである。S2タームで項目1,2を扱い、Aセメスターで項目3~6を扱うことを目安とするが、担当教員によって、順序や内容に一部変更が加えられる場合がある。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 一変数関数の微分 (微分の基本性質、テーラーの定理、テーラー展開) 2. 多変数関数の微分 (偏微分と全微分、合成関数の微分の連鎖律) 3. 多変数関数の微分 (続き) (高階偏微分、多変数のテーラーの定理とその応用) 4. 一変数関数の積分 (区分求積法、微分積分学の基本定理) 5. 多変数関数の積分 (多重積分と累次積分、多重積分の変数変換公式) 6. 無限級数と広義積分 (関数列の収束、広義積分) <p>実数の連続性に基づく微分積分学の基礎の厳密な展開は、2年次Sセメスターの総合科目「解析学基礎」で学ぶことができる。将来、本格的に数学を使う分野に進学しようという場合は「解析学基礎」によって微分積分学の理論的基礎を修得することをすすめる。なお、「解析学基礎」は1年次Sセメスターでも履修することができる。また、2年次Sセメスターの総合科目として、「微分積分学」の直接的な続きにあたる「微分積分学統論」、および「微分積分学」で学んだ事項の応用にあたる「常微分方程式」、「ベクトル解析」が開講される。</p>				
成績評価方法		主として定期試験によるが、担当教員によって小テストやレポートを含めて評価する場合がある。		
教科書		その他。/Other		
関連ホームページ		https://www.ms.u-tokyo.ac.jp/sugaku/calculus.html		
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTASを参照すること				
時間割コード	曜限	担当教員	教室	対象クラス
50065	月 2	木田 良才	524	1年 理二三(14-17)
50066	月 2	山浦 義彦	741	1年 理二三(18-20)
50067	月 2	斎藤 毅	723	1年 理二三(21-24)
50165	月 4	石毛 和弘	724	1年 理一(20-23)
50166	月 4	松田 茂樹	723	1年 理一(24-27)
50167	月 4	逆井 卓也	523	1年 理一(28-31)
50168	月 4	金井 雅彦	741	1年 理一(32-35)
50169	月 4	WILLOX RALPH	721	1年 理一(36-39)
50424	火 4	斉藤 義久	523	1年 理一(1,17-19)
50425	火 4	大坪 紀之	531	1年 理一(2,4-5,8)
50426	火 4	山本 昌宏	524	1年 理一(3,11-13)
50427	火 4	津田 照久	724	1年 理一(6-7,9-10)
50428	火 4	大場 清	741	1年 理一(14-16)
50618	水 3	岡崎 龍太郎	721	1年 理二三(1-7)
50619	水 3	阿部 紀行	523	1年 理二三(8-10)
50620	水 3	緒方 芳子	724	1年 理二三(11-13)

線型代数学②

線型代数学②		開講区分	A	
<p>授業の目標・概要</p> <p>線型代数学の萌芽である行列は多変数の連立一次方程式を効率的、統一的に扱う手法として発明された。また、行列式は方程式の解がただ一つ存在するための条件として発見された。ベクトルの概念の起こりは古典力学にあり、その意味で線型代数学の歴史は古い。しかし行列の本質である線型性概念の真の威力が認識され、数学の一分野として線型代数学が確立したのは新しく、20世紀にはいつてのことであった。</p> <p>自然界や社会科学における現象は一般には複雑で一次方程式で表せることはまれだが、一次近似によりその本質的な部分をとらえることは常套手段であり、線型代数学の考え方は非常に有効である。また、量子力学や、フーリエ解析などに現れる無限次元のベクトル空間を扱うための基礎ともなっており、線型代数学の応用については枚挙にいとまがない。このように、線型代数学の考え方は現代数学や理論物理学においてはもちろんのこと、工学、農学、医学、経済学などにおいても基本的な考え方として浸透しており、応用範囲も広い。線型代数学は理論的には単純で明快であるが、その反面、抽象的な概念操作にある程度慣れないと理解しにくい面もある。線型代数学を身につけるには、演習などのさまざまな問題にあたり、理解を深めることが必要である。「数理科学基礎」において学んだベクトルと線型写像に関する知識を前提とする。</p> <p>S2タームでUTASシラバス「授業計画」の項目1,2を扱い、Aセメスターで項目3~6を扱うことを目安とするが、担当教員によって、順序や内容に一部変更が加えられる場合がある。</p>				
<p>成績評価方法</p> <p>主として定期試験によるが、担当教員によって小テストやレポートを含めて評価する場合がある。</p>				
<p>教科書</p> <p>その他。/Other</p>				
<p>関連ホームページ</p> <p>https://www.ms.u-tokyo.ac.jp/sugaku/linear_algebra.html</p>				
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTASを参照すること				
時間割コード	曜限	担当教員	教室	対象クラス
50481	水 1	田中 公	721	1年 理二三(1-7)
50482	水 1	植野 義明	523	1年 理二三(8-10)
50483	水 1	小林 正典	724	1年 理二三(11-13)
50484	水 1	村上 順	524	1年 理二三(14-17)
50485	水 1	高木 俊輔	741	1年 理二三(18-20)
50486	水 1	関口 英子	723	1年 理二三(21-24)
50816	木 3	飯田 正敏	724	1年 理一(20-23)
50817	木 3	白石 潤一	723	1年 理一(24-27)
50818	木 3	下川 航也	523	1年 理一(28-31)
50819	木 3	梶原 健	741	1年 理一(32-35)
50820	木 3	山崎 満	721	1年 理一(36-39)
50998	金 3	竹内 知哉	523	1年 理一(1,17-19)
50999	金 3	松井 千尋	531	1年 理一(2,4-5,8)
51000	金 3	戸瀬 信之	524	1年 理一(3,11-13)
51001	金 3	足助 太郎	724	1年 理一(6-7,9-10)
51002	金 3	大田 佳宏	741	1年 理一(14-16)

微分積分学演習・線型代数学演習

微分積分学演習・線型代数学演習						
授業の目標・概要	<p>数学は講義を聴いただけでは意味を理解することが難しく、自分の手を動かして計算や証明をやってみる必要がある。この2つの科目は微分積分学や線型代数学の講義と一体であり、練習問題を解くことによって講義に対する理解を助け、応用力を養う。講義内容に即した応用問題の他に、講義の理解を深めるための証明問題や、講義で触れられなかった内容に関する補足問題を適宜付け加えることもある。</p>					
成績評価方法	<p>通常は定期試験を行わず、平常の出席点と対応する講義の試験結果とを組み合わせ、授業時間に発表した解答・提出レポート・小テストなどを適宜勘案した総合評価をもって成績とする。出席点が重視されるため、欠席を重ねると単位を出せなくなることがある。</p>					
教科書	その他。/Other					
関連ホームページ	https://www.ms.u-tokyo.ac.jp/sugaku/					
※講義の詳細については、UTAS も参照すること						

時間割コード	開講	曜限	科目名	担当教員	教室	対象クラス
50118	A	月 3	微分積分学演習	鮑 園園	524	1年 理二三(14-17)
50119	A	月 3	線型代数学演習	鮑 園園	10-203	1年 理二三(14-17)
50120	A	月 3	微分積分学演習	田中 雄一郎	741	1年 理二三(18-20)
50121	A	月 3	線型代数学演習	高木 俊輔	741	1年 理二三(18-20)
50122	A	月 3	微分積分学演習	山本 宏子	723	1年 理二三(21-24)
50123	A	月 3	線型代数学演習	関口 英子	723	1年 理二三(21-24)
50442	A	火 5	微分積分学演習	斉藤 義久	523	1年 理一(1,17-19)
50443	A	火 5	線型代数学演習	竹内 知哉	523	1年 理一(1,17-19)
50450	A	火 5	微分積分学演習	清野 和彦	741	1年 理一(14-16)
50451	A	火 5	線型代数学演習	清野 和彦	741	1年 理一(14-16)
50444	A	火 5	微分積分学演習	牛腸 徹	531	1年 理一(2,4-5,8)
50445	A	火 5	線型代数学演習	牛腸 徹	531	1年 理一(2,4-5,8)
50446	A	火 5	微分積分学演習	山本 昌宏	524	1年 理一(3,11-13)
50447	A	火 5	線型代数学演習	寺田 至	524	1年 理一(3,11-13)
50448	A	火 5	微分積分学演習	津田 照久	724	1年 理一(6-7,9-10)
50449	A	火 5	線型代数学演習	足助 太郎	724	1年 理一(6-7,9-10)
50656	A	水 4	微分積分学演習	牛腸 徹	723	1年 理二三(11-13)
50657	A	水 4	線型代数学演習	牛腸 徹	723	1年 理二三(11-13)
50652	A	水 4	微分積分学演習	柏原 崇人	524	1年 理二三(1-7)
50653	A	水 4	線型代数学演習	柏原 崇人	524	1年 理二三(1-7)
50654	A	水 4	微分積分学演習	阿部 紀行	523	1年 理二三(8-10)
50655	A	水 4	線型代数学演習	鮑 園園	523	1年 理二三(8-10)
50850	A	木 4	微分積分学演習	間瀬 崇史	724	1年 理一(20-23)
50851	A	木 4	線型代数学演習	間瀬 崇史	724	1年 理一(20-23)
50852	A	木 4	微分積分学演習	山本 宏子	723	1年 理一(24-27)
50853	A	木 4	線型代数学演習	白石 潤一	723	1年 理一(24-27)
50854	A	木 4	微分積分学演習	清野 和彦	523	1年 理一(28-31)
50855	A	木 4	線型代数学演習	清野 和彦	523	1年 理一(28-31)

微分積分学演習・線型代数学演習

50856	A	木 4	微分積分学演習	金井 雅彦	741	1年 理一(32-35)
50857	A	木 4	線型代数学演習	梶原 健	741	1年 理一(32-35)
50858	A	木 4	微分積分学演習	WILLOX RALPH	721	1年 理一(36-39)
50859	A	木 4	線型代数学演習	山崎 満	721	1年 理一(36-39)

数理科学基礎（補修）

数理科学基礎（補修）						
授業の目標・概要	科学・技術の礎となる数理科学の基礎的内容を学び、高等学校で学んだ数学から大学で学ぶ数学への橋渡しとする。 講義は微分積分と線型代数の二つのテーマからなる。本科目の講義内容は S2 タームから始まる「微分積分学」「線型代数学」に接続する。					
成績評価方法	定期試験による。					
教科書	授業中に指示をする。/Will specify at class time					
関連ホームページ	https://www.ms.u-tokyo.ac.jp/sugaku/ms_s1.html					
※講義の詳細については、UTAS も参照すること						
時間割コード	開講	曜限	科目名	担当教員	教室	対象クラス
50186	A	月 5	数理科学基礎（補修）	入江 慶	511	1年 理科 2年 理科
50674	A	水 5	数理科学基礎（補修）	白石 潤一	722	1年 理科 2年 理科

電磁気学 A

電磁気学 A		開講区分	A	
授業の目標・概要		<p>電気・磁気の法則を電荷やその運動による電流が作り出す電磁場の法則として捉える事によって、電磁気現象を統一的に理解し、基礎方程式としてのマクスウェル方程式に至る。また、代表的な例題の解法を通じて、その内容と応用の理解を深める。主な項目は以下の通りであるが、実際の内容や順序は教員によって多少の違いがあり、特に*印のついた項目は省略される場合がある。</p> <p>1.序論：自然界の基本的力と電磁場、ローレンツ力、電荷の保存</p> <p>2.静電場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クーロンの法則とガウスの法則 ・電位とその性質 ・静電場の微分方程式（ガウスの定理、ストークスの定理） ・導体系 ・静電場のエネルギーとストレス <p>3.定常電流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オームの法則、連続の方程式 ・回路への応用（キルヒホフの法則） ・ジュール熱 <p>4.定常電流による磁場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンペールの法則 ・静磁場の微分方程式 ・ベクトルポテンシャル ・ビオー・サヴァールの法則 ・円電流と等価磁石 ・単位系 <p>5.電磁誘導とマクスウェル方程式</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ファラデー・レンツの法則 ・変位電流と連続の方程式 ・マクスウェル方程式 ・電磁場のエネルギーと仕事 ・平面電磁波 ・準定常電磁場と交流回路 <p>*6.物質中の電磁場</p> <ul style="list-style-type: none"> *考え方：分極電荷、磁化電流 *誘電体、磁性体（常磁性、反磁性、強磁性） *異なった物質の間の境界条件 *物質中の電磁場エネルギー 		
成績評価方法		各授業の UTAS シラバスを参照すること		
教科書		その他。/Other		
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること				
時間割 コード	曜限	担当教員	教室	対象クラス
50540	水 2	森松 治	533	1 年 理一(1-4)理二三(1-3,7)
50542	水 2	下村 裕	524	1 年 理一(5-6,30-31)
50550	水 2	多田 司	531	1 年 理一(32-35)
50551	水 2	大井 万紀人	721	1 年 理一(37-39)
50552	水 2	深津 晋	532	1 年 理二三(8,11,19)
50555	水 2	横倉 祐貴	723	1 年 理二三(20,22,24)
50751	木 2	関野 恭弘	524	1 年 理一(9,27-29)
50763	木 2	前田 京剛	741	1 年 理一(19,21-22)
50764	木 2	久我 隆弘	721	1 年 理一(23-24,26)
50768	木 2	下村 裕	523	1 年 理二三(4,17-18,23)

50769	木 2	富谷 光良	723	1年 理一(7-8)理二三(12)
50770	木 2	小林 研介	533	1年 理二三(13-14,16)
51049	金 4	石原 秀至	523	1年 理一(10-12)
51051	金 4	大谷 宗久	524	1年 理一(13-15)
51052	金 4	秋山 英文	724	1年 理一(16-18)
51054	金 4	年吉 洋	531	1年 理一(20,25,36)
51062	金 4	町田 友樹	532	1年 理二三(5-6,9)
51063	金 4	藤山 茂樹	1102	1年 理二三(10,15,21)

電磁気学B

電磁気学B		開講区分	A	
<p>授業の目標・概要</p> <p>入学試験で物理学を選択しなかった学生で希望する者を対象とする。 高等学校で未履修であること前提とした講義を行う。 講義では演習、宿題等を十分に課する。 目的は大学レベルの電磁気学を習得してもらう事である。入試において物理学を選択したものは受講資格がない。 主な内容は以下の通り。</p> <p>1.序論：自然界の基本的力と電磁場、ローレンツ力、電荷の保存</p> <p>2.静電場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クーロンの法則とガウスの法則 ・電位とその性質 ・静電場の微分方程式（ガウスの定理、ストークスの定理） ・導体系、導体に働く力、静電場のエネルギーとストレス 演習 <p>3.定常電流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オームの法則、連続の方程式 ・回路への応用（キルヒホフの法則） ・ジュール熱 <p>4.定常電流による磁場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンペールの法則 ・ビオー・サヴァールの法則 ・電流に働く力 ・円電流と等価磁石 ・磁場のエネルギー ・単位系 <p>5.時間的に変動する電磁場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ファラデー・レンツの電磁誘導の法則 ・交流回路 <p>6.変位電流とマクスウェル方程式</p> <ul style="list-style-type: none"> ・変位電流と電荷の保存 ・マクスウェル方程式（積分形） ・平面電磁波 演習 				
<p>成績評価方法</p> <p>各授業の UTAS シラバスを参照すること</p> <p>教科書</p> <p>その他。/Other</p> <p>※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること</p>				
時間割 コード	曜限	担当教員	教室	対象クラス
50541	水 2	陶山 明	741	1年 理一(1-6,30-35,37-39)理二三(1-3,7-8,11,19-20,22,24)
50752	木 2	菊川 芳夫	511	1年 理一(7-9,19,21-24,26-29)理二三(4,7-8,12-14,16-18,23)
51050	金 4	上野 和紀	513	1年 理一(10-18,20,25,36)理二三(5-6,9-10,15,21)

構造化学

構造化学		開講区分	A	
<p>授業の目標・概要</p> <p>物質の多様な構造や性質、反応を体系的に理解するには、原子や分子に基づいた化学的な考察が不可欠である。本講義では、初歩的な量子論に基づいて、原子の構造や周期律、分子の化学結合の基礎を学ぶ。理論的な基礎だけでなく、契機となった実験結果や身近な物質・現象を通して理解を深めることを目指す。各教員が共通して取り上げる具体的な項目は、下記の通りである。</p> <ol style="list-style-type: none"> 量子論の必要性 <ul style="list-style-type: none"> 原子の発光スペクトル(離散的なエネルギー準位, Bohr 原子) 電子の粒子性と波動性(電子回折, 物質波) 量子論の基礎 ・Schrödinger 方程式(原子・分子の量子論の出発点) <ul style="list-style-type: none"> 1次元箱中の電子(ポリエンの吸収スペクトルと色) 2原子分子の振動(振動スペクトルと分子構造) 原子の構造と性質 <ul style="list-style-type: none"> 水素原子(量子数, エネルギー準位, 原子軌道) Pauli の排他原理(電子スピン) 多電子原子(元素の周期律と構成原理) 化学結合と分子 <ul style="list-style-type: none"> 水素分子イオン(分子軌道, 化学結合) 2原子分子(分子の性質と電子構造) <p>成績評価方法 教科書</p> <p>各授業の UTAS シラバスを参照すること その他。/Other</p> <p>※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること</p>				
時間割 コード	曜限	担当教員	教室	対象クラス
50057	月 2	立川 仁典	532	1年 理一(20,33-34)
50058	月 2	山口 和也	531	1年 理一(21-22,31)
50062	月 2	村田 昌之	523	1年 理二三(5-6,9,11)
50087	月 3	奥野 将成	523	1年 理一(17,29-30)
50117	月 3	瀬川 浩司	524	1年 理二三(10,12-13)
50226	火 1	十代 健	524	1年 理一(7,27-28)
50233	火 1	河野 淳也	523	1年 理一(12,24,35)
50235	火 1	横川 大輔	531	1年 理二三(7,15,20)
50363	火 3	小安 喜一郎	1225	1年 理一(8,11,13)
50371	火 3	横川 大輔	531	1年 理二三(4,8,22-23)
50374	火 3	安池 智一	1102	1年 理二三(14,18-19)
50610	水 3	中田 真秀	532	1年 理一(4,16,18)
50617	水 3	澁田 靖	533	1年 理一(19,36,38)
50646	水 4	齊藤 圭亮	532	1年 理一(10,14-15)
50649	水 4	青木 優	533	1年 理一(23,37,39)
50650	水 4	小島 達央	531	1年 理一(25-26,32)
50809	木 3	長谷川 宗良	531	1年 理一(1-3,5-6,9)
50821	木 3	角野 浩史	532	1年 理二三(1-3,16-17,21,24)

生命科学Ⅱ

生命科学Ⅱ		開講区分	A	
授業の目標・概要	<p>細胞生物学を中心に細胞の構造と機能の初歩を講義する。内容はほぼ以下の通りであるが、講義の具体的な進め方は教員によって多少異なることもある。開講時の説明をよく聞くこと。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 細胞内輸送 2. 細胞骨格と細胞運動 3. 細胞間・細胞内情報伝達 4. 神経伝達と機能 5. 細胞周期 6. 動物・植物の発生 7. 遺伝子の発現制御 8. ゲノムと進化 9. 生物多様性 			
成績評価方法	各授業の UTAS シラバスを参照すること			
教科書	<p>次の教科書を使用する。／Will use the following textbook</p> <p>書名 理系総合のための生命科学－分子・細胞・個体から知る“生命”のしくみ－第4版</p> <p>著者（訳者） 東京大学生命科学教科書編集委員会 編</p> <p>出版社 (株)羊土社</p> <p>ISBN 978-4-7581-2086-9</p>			
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること				
時間割 コード	曜限	担当教員	教室	対象クラス
50170	月 4	阿部 光知、坪井 貴司	1101	1年 理二三(1-3,16,20-22)
50171	月 4	細谷 夏実	524	1年 理二三(10,14,17-18)
50912	金 1	道上 達男	523	1年 理二三(7,9,12,23)
50918	金 1	佐藤 健	524	1年 理二三(11,13,15,24)
51021	金 3	山田 貴富	1102	1年 理二三(4-6,8,19)